

令和4年度厚生労働行政推進調査事業費補助金  
(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))  
「公的年金制度の所得保障機能・所得再分配機能に関する検討に資する研究 (21AA2008)」

老齢年金の受給資格期間短縮が国民年金保険料の納付行動に及ぼした影響<sup>1</sup>

研究代表者 山田篤裕(慶應義塾大学経済学部教授)

研究分担者 大津唯(埼玉大学大学院人文社会科学研究所准教授)

## 1. はじめに

2012年の「公的年金制度の財政基盤及び最低保障機能の強化等のための国民年金法等の一部を改正する法律(年金機能強化法)」により、老齢年金を受け取るための資格期間(保険料納付済期間と国民年金の保険料免除期間等の合算期間)は、25年から10年へと短縮(以下、これを「期間短縮」と略記)されることとなった。この期間短縮は「無年金者をできる限り救済すると同時に、納付した年金保険料を極力給付に結びつける観点」(厚生労働省 2017: 283)に基づき、実施されたものである。

期間短縮は、当初、消費税の10%引上げに合わせ施行される予定であったため、消費税引上げ延期に伴い度々延期された<sup>2</sup>。しかし、「無年金の問題は喫緊の課題であり、できる限り早期に実施する必要がある」(厚生労働省 2017:283)ことから、消費税10%への引上げ(2019年10月)前であったにもかかわらず、2016年の年金機能強化法改正により2017年8月1日に施行された。

期間短縮により初めて老齢基礎年金の受給権を得る対象者は約40万人であり、特別支給の老齢厚生年金対象者等を含めると、対象者は約64万人とされていた(厚生労働省 2016: 1)。しかし実際には「短縮により受給権が発生するであろうと年金請求を行ったところ、従前の短縮前の受給要件を満たしている者が一定数存在」(厚生労働省 2019: 93)していることも明らかになり、結果的に、より多くの人々が制度改革の恩恵を受けることとなった。

筆者らの知る限り、期間短縮は比較的新しい制度改革であり、制度改革の恩恵を受けた人数以外、その影響に関する知見は限られているようである。期間短縮には一定の貧困削減効果があったことが確認されている(山田 2021)。一方、期間短縮に関する社会保障審議会年金部会の議論では「10年間納付すればよいという誤解」により、保険料納付意欲を低下させ、その結果、さらなる低年金・低所得者を増大させる可能性も

---

<sup>1</sup> 本研究は、令和4年度厚生労働行政推進調査事業補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))「公的年金制度の所得保障機能・所得再分配機能に関する検討に資する研究(代表者:山田篤裕)」の一環として実施された。本稿の実証分析で用いられた「匿名年金情報」および「国民年金被保険者実態調査」の調査票情報は当該事業の一環として特別に利用が認められた。データ提供にご協力いただいた関係者各位に深く御礼申し上げる。なお本稿の分析で示される数値は独自集計したものであり、公表値と必ずしも一致しない。

<sup>2</sup> 「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律」(平成24年法律第68号)では消費税は2015年10月に10%に引き上げることが明記されていた。しかし2014年4月に5%から8%へ引き上げられた際の駆け込み需要の反動による消費落ち込みを踏まえ、2014年11月に2017年4月に延期することとなった。その後さらに2016年6月の新興国経済の落ち込みを踏まえ、再び引上げは延期され、実際に消費税が10%に引き上げられたのは、2019年10月となった(日本経済新聞 2018年10月15日)。

懸念されていた(厚生労働省 2011: 14; 2012: 8-9)にもかかわらず、その懸念に関する知見はより限られているようである。

実際、かつての 25 年という資格期間設定が、納付行動(未加入や未納)に影響を与えていた可能性は、いくつかの統計・研究で示されてきたところである。例えば、老齢基礎年金の新規裁定者の納付済期間と免除期間の合計期間が「25 年に達したところで人数が増え、25 年を超えると一旦人数が減少するという傾向」(厚生労働省 2011:4)が確認されている。また任意加入しない限り、「35 歳」が 25 年間という受給資格期間を満たすための限界年齢であることから、その年齢の前後で納付行動が異なるかどうか検証され、いずれも 35 歳前後で納付行動に統計的な有意な差があることから、25 年という受給資格期間による影響は存在するとの知見が積み重ねられてきた(阿部 2001; 鈴木・周 2001; 鈴木・周 2006; 湯田 2006; 山田 2009)。

本稿では 2017 年 8 月 1 日に行われた期間短縮により、国民年金保険料の納付行動あるいは納付意欲が変化していないか、「匿名年金情報」および「国民年金被保険者調査」調査票情報の 2 つのデータに基づき明らかにすることを目的とする。

## 2. 分析の枠組み

### (1) データおよび分析対象

本稿では「匿名年金情報」および「国民年金被保険者調査」調査票情報の 2 つのデータを使用する。

「匿名年金情報」とは年金局が保有する情報の一部で 2016~2020 年度までの 5 年分の国民年金被保険者の性別、年齢、被保険者種別、免除期間、納付状況(第 1 号被保険者であった期間のみで、最大で直近 11 年間)の変数のみ 100 分の 1 で抽出したものである。サンプルサイズは各年度 22~25 万、5 年度分全体で 120 万ある。

この中、本稿の分析対象としたのは、2020 年度末時点における国民年金被保険者第 1 号被保険者の 2016 年 7 月~2019 年 3 月分の保険料納付状況である。分析対象から 2016 年 6 月分以前を除外したのは、2016 年 7 月に保険料の納付猶予制度の対象が 30 歳未満から 50 歳未満に拡大された影響を除外するためである。また、2019 年 4 月分以降を除外したのは、納付状況のデータが 2020 年度末時点のものであり、2019 年 4 月分以降はまだ納付期限から時効となる 2 年を過ぎておらず、未納となっている保険料がその後納付される可能性が残されているためである。

また、期間短縮時の年齢とその時点での資格期間の長さ、あるいは将来達成可能な資格期間との関係によって、期間短縮前後で納付行動に変化が生じている可能性がある。例えば 60 歳到達後に任意加入しないと仮定し、50 歳以上ですでに達成した(あるいは将来達成可能な)資格期間が 10 年未満である場合、受給資格を得る機会が制度改正により新たに生じたことで、保険料未納を避けようとするかもしれない。また同様に 60 歳到達後は任意加入しないと仮定し、35 歳以上で、すでに達成した(あるいは将来達成可能な)資格期間が 25 年以上である場合、すでに受給資格を得る可能性が高いため、制度改正前より保険料未納に抵抗感がなくなるかもしれない。このように、資格期間と年齢の組合せにより、制度改正前後での保険料納付行動には異なる可能性があるため、分析時には、資格期間と年齢階級を適宜区分する。

「国民年金被保険者実態調査」は厚生労働省年金局所管の調査であり、「国民年金第 1 号被保険者について、保険料の納付状況ごとに、その実態を明らかにし、被保険者の国民年金に対する意識、保険料未納の理由など今後の国民年金事業運営に必要な資料を得ることを目的」としている(厚生労働省 2022:1)。本稿の分析では、2017 年調査および 2020 年調査を用いた。

「国民年金被保険者実態調査」は2種類の調査からなる。第1号被保険者に対して直接調査する「郵送調査」と、第1号被保険者の所得・課税状況、世帯構成、本人の状況(障害者、寡婦等)について市区町村職員が転記する「所得等調査」である。しかし本稿の分析に利用が許可されたのは「郵送調査」のみである。

「郵送調査」の調査客体数は最新の2020年調査で6万3千人であり、分析に十分なサンプルサイズを確保でき、また過去2年間の保険料納付状況(6区分)は年金局が所管する情報から把握されており、正確性が期されている。

さらに2017年調査と2020年調査は、本人が記憶しているおおよその受給資格期間(10年未満、10年以上25年未満、25年以上の3区分)と今後の国民年金保険料の納付意欲に関する設問が追加されている。期間短縮は2017年8月1日に行われたため、2017年調査と2020年調査を比較することにより、本人が記憶しているおおよその受給資格期間ごとに、過去2年間の納付状況および今後の納付意欲が、期間短縮という制度改正前後でどのように変化したかを検証可能なデータとなっている。

なお学生は納付行動がそのほかの者とは大きく異なることが予想されるため、本稿の分析対象から除いた。

## (2) 分析枠組

将来的に達成可能な受給資格期間が10年以上25年未満であった人は、期間短縮により受給資格期間を満たせる可能性が復活したことで、保険料を積極的に支払うようになる可能性がある一方、25年から10年へと受給資格期間の要件が緩和されたことで、逆に保険料を納付しなくなる可能性もある。

受給資格期間と年齢階級の組合せごとに、納付状況や納付意欲が期間短縮前後で異なるかどうかを、計量経済学的手法を用いて検証すれば、どちらの可能性がもっともらしいか明らかにすることができる。

より具体的には「匿名年金情報」では、データ取得時点までの受給資格期間が入手可能であるので、その受給資格期間と今後納付可能な期間とを合計することで、最長で将来的に何年の受給資格期間が達成可能かを計算できる。将来国民年金保険料を納付可能な期間の上限について、60歳まで(任意加入しない場合を想定)と、70歳まで(任意加入する場合を想定)の2つを設定した。

その上で、2017年7月時点における将来的に達成可能な受給資格期間を、10年未満、10年以上25年未満、25年以上の3つに区分した。老齢年金の受給に必要な資格期間が2017年8月以降、25年から10年に短縮されたことにより、将来的に達成可能な受給資格期間が10年未満である場合、受給資格期間を満たそうとして未納率は下がる可能性がある。一方、将来的に達成可能な受給資格期間が10年以上25年未満あるいは25年以上である場合、老齢年金の受給に必要な資格期間を相対的に容易に満たせるようになることから、未納率は上がる可能性がある。

「匿名年金情報」では、月次の未納状況の変数が入手可能であるため、被説明変数を月ごとの未納の有無とし、説明変数として、将来的に達成可能な受給資格期間3区分および2017年8月以降かどうかの交差項を用いることで、期間短縮という制度改正前後で、未納率が変化したかを検証する。

「匿名年金情報」では個人属性は、受給資格期間や年齢(月齢)や性別以外に入手できないので、観測されない(変数として入手できない)異時点間で変化しない個人属性(性別等)を統御するため、線形確率モデルで固定効果推定を行った。なお、観測期間(2016年7月～2019年3月)のうち、全期間が第1号被保険者であった人のみにサンプルを絞った分析(完全パネル)と、観測期間の一部に第1号被保険者であった期間がある人全てを対象とする分析(不完全パネル)の2種類の分析を行った。

また「国民年金被保険者実態調査」でも、本人の記憶に基づくものであるが、調査時点における受給資格期

間<sup>3</sup>が10年未満、10年以上25年未満、25年以上の3つ三つの区分で把握されている。

被説明変数を、調査年度前の過去2年間<sup>4</sup>の実際の保険料納付状況(1号期間滞納および一部納付)と、これからの国民年金の保険料納付に対する拒否(もうこれ以上納めない)とし、説明変数として年齢階級と制度改革後となる2020年調査ダミーの交差項を用い、本人が記憶する受給資格期間に基づく3区分別に推計することで、期間短縮という制度改革前後で、未納行動が変化したかを検証する。

ただし、今後の納付拒否に関してのみ、2017年調査の調査期間が2017年10月～2018年3月であるため、少なくとも制度改革後2か月を経過した時点での設問となる。つまり今後の納付拒否の分析については、制度改革以降の2時点間の変化をみることになり、このため純粋な制度改革前後の効果をみることができない。しかし、制度改革の全効果が改正直後に瞬時に全て現れたのではなく、徐々に被保険者の間に浸透していったとすれば、2時点間の変化の有無を確認することは、相応の意味があると考えられるため、同じ分析枠組を用いることとした。

「国民年金被保険者調査」は「匿名年金情報」とは異なり、就業状況、都市規模、世帯消費額、年金制度の周知など、さまざまな個人属性が把握できる。交差項以外にこれらを説明変数として加え、個人属性を統御し、Logitモデルに基づきオッズ比を推計する。

### 3. 「匿名年金情報」に基づく分析結果

#### (1) 月ごとの未納率の推移

2017年7月末時点での将来的に達成可能な受給資格期間(以下、「達成可能期間」と略記)の3区分(10年未満、10年以上25年未満、25年以上)ごとに、年齢階級別に未納率の変化を、2016年7月～2019年3月の33か月間、月ごとに示したのが図1である。年齢階級は2017年7月末時点での年齢で区分されている。

いずれの年齢階級でも、達成可能期間10年未満および10年以上25年未満において未納率は33か月間に大幅に低下している。例えば50歳以上について、10年未満の未納率は90%から70%まで20%ポイント低下している。また、50歳以上について10年以上25年未満についても50%から40%へと10%ポイント低下している。ほかの年齢階級でも同様の傾向が観察される。一方で、25年以上についてはどの年齢階級でも、そうした低下はみられない。

このことは達成可能期間階級ごとに、未納率低下のトレンドが異なっており、制度変更の効果を検出するためには、達成可能期間階級ごとのトレンドについても統御しなければならないことを示唆している。

またいずれの年齢階級、達成可能期間についても、2017年8月の制度改革前後で未納率の傾きが、折れ線グラフで把握できるほど変化したことは図1からは確認できない。

#### (2) 回帰分析の推定結果

そこで達成可能期間階級ごとの未納率低下のトレンドの相違を統御した上で、期間短縮という制度改革の効

---

<sup>3</sup> 本人の記憶に基づく受給資格期間は、2017年調査と2020年調査の質問10「これまで保険料を納めた期間(厚生年金等に加入していた期間も含みます。)や免除されていた期間など、『老後に年金を受けるために必要な期間』について、あなたご自身の期間はどのくらいあると思いますか？当てはまるものを1つ一つだけ選んでください。」という質問に基づく。

<sup>4</sup> 2017年調査については、2015年度と2016年度、2020年調査については2018年度と2019年度の保険料納付状況が把握されている。

果を線形確率モデルに基づき検証した結果が表 1 である。括弧内に示されているのはロバスト標準誤差である。プーリング回帰モデルや変量効果モデルの結果も示されているが、観測されない異時点間で変化しない個人属性(性別等)が統御された固定効果モデルの推計結果に注目する。制度改正の効果を表す変数は「制度改正時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド」である。被説明変数は各月の未納率であり、線形確率モデルであるので、係数を 100 倍した値が、未納率に何%ポイントの影響を制度改正が与えたか示すことになる。

制度改正時の年齢が 50 歳以上のサンプルにおいては、いずれも当該変数の係数は統計的に有意でない(表 1(1)、(2))。一方で 35～49 歳(60 歳まで加入を仮定)および 45～59 歳(70 歳まで任意加入を仮定)は、当該変数の係数は統計的に有意であり、この結果は達成可能期間 25 年未満の人の未納率の(達成可能期間が 25 年以上の人に対する相対的な)低下速度が、制度改正後に毎月 0.3%ポイント落ちたと解釈できる(表 1(3)～(6))。

### (3) 頑健性の確認

表 1 では、2017 年 8 月以降を 1 とするダミー変数が、期間短縮という制度改正の効果を表していると想定していた。しかし、制度改正の前月である 7 月は、保険料の免除・納付猶予の申請年度が切り替わる月であり、その影響を捉えてしまっている可能性もある。そこで表 1 の頑健性を確認するために、2017 年 7 月以降を 1 とするダミー変数を制度変更ダミーに置き換えて用いた推計と、その前後に保険料の納付状況に影響を与えるイベントが無い 2017 年 12 月以降を 1 とするダミー変数を制度変更ダミーに置き換えて用いた推計を行った。結果は、表 2 のとおりである。

制度改正の効果を表さない「偽」変数となる「制度改正時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド」に着目すると、表 1 と同様、35～49 歳(60 歳まで加入を仮定)および 45～59 歳(70 歳まで任意加入を仮定)の当該変数の係数は統計的に有意であり、達成可能期間 25 年未満の人の未納率の(達成可能期間が 25 年以上の人に対する相対的な)低下速度が 2017 年 7 月以降あるいは 2017 年 12 月以降に 0.3～0.4%ポイント落ちたことが確認できた。

そのため、2017 年 8 月以降を 1 とする制度改正の効果を表していると想定していたダミー変数が、前月の免除・納付猶予の申請年度の切替わりの効果や、単に趨勢的な未納率の低下速度の変化の影響を含んでいる可能性を否定できない。一方で、期間短縮という制度改正の影響は、制度改正の事前情報<sup>5</sup>が納付行動に影響を与える可能性や、制度改正の周知にかかる可能性を考慮すると、2017 年 7 月や 2017 年 12 月に現れる可能性もあるため、表 1 の結果が頑健でないと否定することもできない。

## 4. 「国民年金被保険者実態調査」に基づく分析結果

### (1) 1 号期間滞納に関する分析

次に「国民年金被保険者実態調査」を用い、過去 2 年間の納付状況および今後の納付意欲という 2 つの別の指標を用い、制度改正の影響を検証する。

「国民年金被保険者実態調査」では、表 3 で示したように、保険料納付状況に応じて調査対象者を 6 区分し

<sup>5</sup> 冒頭でも述べたように、実際の改正の 5 年前の 2012 年「年金機能強化法」により、もともとは 2015 年に期間短縮されることになっていた。

ている。この中、本稿では学生を分析対象から除いているため、学生納付特例者も分析対象から外れることになる。さらに申請全額免除者と納付猶予者については調査前年度末の納付状況しか分からないため、過去2年間の未納に関する分析からは除外した。ただし今後の納付意欲に関する分析には含めている。

本人の記憶する受給資格期間別に、1号期間滞納者(過去2年間、保険料未納)の割合が2017年と2020年の間にどのように変化したのか示したのが表4である。集計にあたっては、集計乗率に基づき重みづけしている(以下同じ)。年齢階級の列に2017年と2020年の差が統計的に有意であるか示した。

資格期間が10年未満であると考えている35~39歳を除けば、いずれの資格期間・年齢階級でも2017年から2020年までの間に1号期間滞納者の割合は低下した。しかし、統計的に有意に低下したと確認できるのは、資格期間が25年以上であると考えている45~59歳、10年以上25年未満であると考えている35~49歳、そして10年未満であると考えている30~34歳および50~54歳である。

さらに1号期間滞納者と一部納付者を合わせて「未納」と定義し、同様に、2017年から2020年までの未納者の割合の変化を示したのが表5である。傾向は、1号期間滞納者の割合低下とほぼ同じで、多くの場合で2017年から2020年までの間に低下しているが、統計的に有意に低下したと確認できるのは、資格期間が25年以上であると考えている45~59歳、10年以上25年未満であると考えている35~49歳であった。ただし、資格期間が10年未満であると考えている者についてはいずれの年齢階級でも5%水準では統計的に有意でなかった。

さらにさまざまな個人属性や年金制度に関する周知度(表6に詳述)と、1号期間滞納率との相関をLogit分析に基づくオッズ比により示したのが表7である(記述統計量は附表3参照)。推計にあたっては、クロス集計と同様、集計乗率に基づき重みづけしている(以下同じ)。また括弧内に示されているのはロバスト標準誤差である。各々の推計式は本人が記憶する受給資格期間別の推計である(1)、(5)式は全サンプルでの推計)。また推計式(5)~(8)は推計式(1)~(4)に年金制度に関する周知度を変数として追加したものである。

ここでは各推計式における「各年齢階級×2020年ダミー」のオッズ比が、制度改正の影響として解釈される。当該オッズ比は年金制度に関する周知度に関する変数を投入していない推計式(1)~(4)において、いずれも統計的に有意でない。

年金制度に関する周知度の変数を投入することで、交差項「各年齢階級×2020年ダミー」のオッズ比は一部の年齢階級のみ統計的に有意となる(推計式(5)~(8))。有意となったオッズ比は本人が記憶する受給資格期間が10年以上25年未満の55~59歳と、10年未満の25~29歳と35~39歳であり1を超えており、これらの年齢階級では1号期間滞納確率が2017年よりも相対的に高いことを意味する。しかし、交差項でない10年未満の25~29歳および35~39歳のオッズ比は各々0.3、0.5となっており1よりも小さく、1号期間滞納率は相対的に低い。一方で、交差項でない10年以上25年未満の55~59歳のオッズ比は2.4で、1より比較的大きな値であり、1号期間滞納率は相対的に高い。

このことから、当該交差項を制度改正の効果とみなすなら、本人の記憶する受給資格期間が10年以上25年未満かつ55~59歳の場合において、期間短縮は1号期間滞納率を上昇させた可能性があるとして解釈できる。

また年金制度に関する知識(周知度)に注目すると、年金を受給するには資格期間が10年以上であることを知っており、かつ本人の記憶する資格期間が10年未満の場合のみ、オッズ比が統計的に有意であり1.1と1を上回っている。25年以上あるいは10年以上25年未満の場合、オッズ比は逆に0.9と1を下回っている。つまり資格期間が10年以上という知識は、本人が記憶する受給資格期間が10年未満である場合、1号期間滞納率を相対的に高めている可能性が示唆される。一方で、本人が記憶するいずれの資格期間階級でも、免除

制度や保険料納付猶予制度を知っている場合、1号期間滞納となるオッズ比は低く(1を下回り)、逆に免除・猶予期間の追納可能期間を知っている場合は1号期間滞納となるオッズ比は高い(1を上回る)。また世代間再分配の仕組みを知っている場合、本人の記憶する受給資格期間が25年以上あるいは10年以上25年未満において1号期間滞納となるオッズ比は高い。

それ以外の変数に注目すると、過去の納付行動に関する研究で指摘されてきたことが再確認できる。具体的には、所得の代理変数である世帯消費額が高いほど、生命保険料・個人年金保険料納付額が高いほど、未納確率は相対的に低い傾向にあり、雇用者(非正規雇用のみならず常用雇用を含む)である場合、本人の記憶するいずれの受給資格期間においても未納となるオッズ比は統計的に有意で1を上回り未納確率が相対的に高い傾向にある。

## (2) 未納に関する分析

1号期間滞納者と一部納付者を合わせ「未納」と定義し被説明変数として、同じ説明変数でLogit分析に基づきオッズ比を推計した結果が表8である(記述統計量は附表3参照)。

ここでも各推計式における交差項「各年齢階級×2020年ダミー」のオッズ比は、制度改正の影響として解釈される。1号期間滞納に関する推計結果とは異なり、当該オッズ比は年金制度に関する周知度の変数を投入していない推計式(1)～(4)においても統計的に有意となっている。本人の記憶する受給資格期間が25年以上の場合、当該オッズ比はいずれも1を下回り、未納確率が相対的に低い傾向がうかがえる。また、10年以上25年未満の場合、当該交差項は25歳以上59歳までの年齢階級で全て1を上回り、未納確率は相対的に高い傾向がうかがえる。さらに本人の記憶する受給資格期間が10年未満の場合には、当該交差項は50～54歳で1を下回る一方、45～49歳と55～59歳では1を上回り、未納確率が相対的に低い傾向と高い傾向が年齢階級によって異なっていた。

年金制度に関する周知度の変数を投入すると、さらに本人の記憶する受給資格期間が10年未満の場合、当該交差項で、さらに25～29歳および35～39歳が統計的に有意となり、そのオッズ比は1を上回り、未納確率が相対的に高い傾向があった。また年金制度に関する知識(周知度)の変数を入れない場合の推計式と同じく、本人が記憶する受給資格が10年未満の場合、50～54歳の交差項は統計的に有意かつ1を下回り、未納確率が相対的に低い傾向があった。

このことから、当該交差項を未納確率に対する制度改正の影響とみなせるのであれば、本人が記憶する受給資格期間が25年以上あるいは50～54歳かつ本人の記憶する受給資格期間が10年未満の場合、期間短縮は未納率を低下させた一方、それ以外の場合は、期間短縮はいずれも未納率を上昇させた可能性があるとして解釈可能である。

また年金制度に関する周知度に注目すると、1号期間滞納の推計では、年金を受給するには資格期間が10年以上であることを知っている場合、本人の記憶する資格期間が10年未満のみ、オッズ比が統計的に有意で1を上回っており1号期間滞納確率が高い傾向にあるが、未納の場合には当該カテゴリーのオッズ比は有意ではない。一方で、世代間再分配や追納制度の知識があるとオッズ比は統計的に有意で1より大きく未納確率が相対的に高い傾向にあり、保険料納付猶予制度を知っているとオッズ比は有意で1より小さく未納確率は相対的に低い傾向にある。

1号期間滞納の分析と同様に、それ以外の変数に注目すると、過去の納付行動に関する研究で指摘されてきたことが同じく再確認できる。具体的には、所得の代理変数である消費額が高いほど、生命保険料・個人年

金保険料納付額が高いほど、未納確率は相対的に低い傾向にあり、雇用者(非正規雇用のみならず常用雇用を含む)である場合、本人の記憶するいずれの受給資格期間においても未納となるオッズ比は統計的に有意で1を上回り未納確率が相対的に高い傾向にある。

### (3) 納付拒否に関する分析

最後に、完納者、一部納付者、1号期間滞納者、申請全額免除者、納付猶予者の全てを含め、これからの国民保険料について「満額となる40年に近づけるよう、できるだけ長く納める」「10年に届くまで納めることを目指す」「もうこれ以上納めない」の構成割合を、本人が記憶する受給資格期間・年齢階級別に、2017年と2020年を比較したのが表9である。「10年に届くまで納めることを目指す」という回答は、定義により、本人の記憶する資格期間が10年未満である場合のみ存在する選択肢である。

「もうこれ以上納めない」という選択肢に注目すると、本人の記憶する資格期間が10年以上25年未満の55～59歳で2017年から2020年までの間に7%ポイント構成比は下がっており、比較的大きな差があるが、統計的には有意な差でない。一方で、自分の資格期間が10年未満の55～59歳では「もうこれ以上納めない」は同期間に3%しか下がっていないが、「10年に届くまで納めることを目指す」という割合が21%ポイント増大していることもあり、統計的に有意な差となっている。

さらに個人属性を統御するため、「もうこれ以上納めない」と回答した場合を「(今後の)納付拒否」と定義して被説明変数として、前項の分析と同じ説明変数でLogit分析に基づきオッズ比を前項までの分析と同様に推計した結果が表10である(記述統計量は附表4参照)。

交差項でない年齢階級のオッズ比に注目すると、本人の記憶する受給資格期間の別にかかわらず、45歳以上の年齢階級から統計的に有意であり、かつ年齢階級55～59歳までのオッズ比の値は大きくなっており、45歳以上では年齢が高くなるほど、だんだんと「もうこれ以上納めない(納付拒否)」となる確率が相対的に高くなっていくことが示唆される。

次に各年齢階級と2020年ダミーとの交差項に注目する。この交差項は、前項までの分析と異なり、期間短縮という制度改革の純粋な効果とみなすことはできない。先にも述べたように、今後の納付拒否に関する調査時点は、2017年調査の期間が2017年10月～2018年3月であるため(1号期間滞納や未納は調査前年度と前々年度2年間の納付実績に基づくため、2017年調査の数値は改正前の状況である)、少なくともすでに制度改革後2か月が経過している。つまり2017年調査と2020年調査を比較することは、制度改革以降の2時点間の変化をみることになり、制度改革による純粋な効果とはみなせない。しかし、今後の納付意欲に対する制度改革の効果が改正時に瞬時に全て現れたのではなく、改正後に徐々に被保険者の間に浸透していったとすれば、2時点間の変化の有無を確認することは、それなりに意味があると考えられる。

当該交差項のオッズ比が有意であるのは、年金制度に関する周知度を入れるかどうかにかかわらず、本人の記憶する受給資格期間が10年以上25年未満の55～59歳と10年未満の55～59歳であり、いずれもオッズ比は1を下回り、納付拒否率は相対的に低いことが分かる。

このことから、当該交差項を今後の納付意欲に対する制度改革後に徐々に現れてきた改正による影響とみなせるのであれば、本人の記憶する受給資格期間が10年以上25年未満の55～59歳と10年未満の55～59歳の場合、期間短縮は今後の納付を拒否する割合を低下させたとの解釈が可能である。

一方で、1号期間滞納の分析と同様、年金を受給するには資格期間が10年以上であることを知っている場合、本人の記憶する資格期間が10年未満の場合のみ、オッズ比が統計的に有意であり1.1と1を上回っている



る。25年以上の場合、オッズ比は逆に0.9と1を下回っている。つまり資格期間が10年以上という知識は、本人の記憶する受給資格期間が10年未満である場合、今後の納付を拒否する割合を相対的に高めている可能性がある。

## 5. おわりに

本稿では2017年8月1日に行われた年金の受給資格期間の25年から10年への短縮(期間短縮)により、国民年金保険料の納付行動あるいは納付意欲が特に35歳以降で変化していないか、「匿名年金情報」(2020年度末時点における国民年金被保険者第1号被保険者の2016年7月～2019年3月分の保険料納付状況)および「国民年金被保険者調査」(2017年、2020年)調査票情報の2つのデータに基づき検討した。

本稿の分析結果による主要な知見は以下5点にまとめられる。

第一に、「匿名年金情報」に基づく分析結果によれば、制度改正時に30～49歳であったサンプルの分析では、達成可能期間25年未満の人の未納率の相対的な低下速度が、期間短縮により毎月0.3%ポイント遅くなったことが観察された。ただし、50歳以上では同様の効果は観察されなかった。

第二に、「国民年金被保険者実態調査」に基づく分析結果によれば、本人の記憶する受給資格期間が10年以上25年未満かつ55～59歳の場合、期間短縮は1号期間滞納率を上昇させた可能性がある。また未納率については期間短縮の効果は正負混在しており、本人の記憶する受給資格期間が25年以上あるいは50～54歳かつ本人の記憶する受給資格期間が10年未満の場合、期間短縮は相対的に未納率を低下させたが、それ以外の場合には期間短縮はいずれも相対的に未納率を上昇させた可能性がある。

第三に、「年金の受給資格を得るために必要な資格期間が10年以上必要である」という制度理解があると、本人の記憶する受給資格期間が10年未満である場合、1号期間滞納率や今後の保険料納付を拒否する割合が相対的に高い一方、未納率についてはそうした傾向を確認できなかった。

第四に、55～59歳で本人の記憶する受給資格期間が10年未満あるいは25年未満である場合、期間短縮は今後の保険料納付を拒否する確率を低下させた可能性がある。

第五に、世帯所得の代理変数である世帯消費額が高いほど、生命保険料・個人年金保険料納付額が高いほど、あるいは免除制度や保険料納付猶予制度に関する制度理解があると1号期間滞納率や未納率は相対的に低い傾向にある一方で、雇用者(非正規雇用のみならず常用雇用を含む)である場合、本人の記憶するいずれの受給資格期間においても1号期間滞納率や未納率は自営業者と比べ相対的に高い傾向にある。このことは過去の納付行動に関する研究で指摘されてきたことが、本稿が用いた新たなデータに基づいても再確認できたことを意味する。

若干の政策含意を述べれば、受給資格期間短縮が一部の属性集団において、1号期間滞納率や今後の保険料納付意欲を低下させ、月ごとの未納率の低下傾向をやや緩和させたとすれば、保険料免除制度や保険料納付猶予制度の周知あるいは大津(2023)で提言されたような申請に頼らない積極的的制度活用、そして雇用者への被用者保険のさらなる適用拡大は重要な政策的対応となる。

なお本稿の分析では、受給資格期間短縮という制度改正の効果が、トレンド項や年齢階級と、制度改正時点前後を表すダミー変数との交差項でとらえられることを前提としている。そのため、当該交差項に他の制度改正の効果が入り込んでいる可能性や、逆にほかの制度改正の効果と相殺されていて統計的に有意となっていない可能性もある。また未納率低下のトレンドを統御するかどうか、あるいはどの指標あるいはどの基準カテゴリーを採用するかで、期間短縮の効果は異なって捉えられる(補論も参照)。こうした可能性や相違をさらに精緻

な方法で検討することが、今後の研究課題として残されている。

### (補論)「匿名年金情報」に基づき「すでに達成した受給資格期間」階級を用いた場合の納付行動の変化に関する分析

納付行動の変化を検証するためのサブグループの作成方法として、「匿名年金情報」を用いた分析では「将来達成可能な受給資格期間」に基づく一方、「国民年金被保険者実態調査」を用いた分析では(本人の記憶している、という違いもあるが)「すでに達成した受給資格期間」に基づく。そこで「匿名年金情報」を用いた分析でも、「すでに達成した受給資格期間」に基づくサブグループを用い、本論第 3 節と同様の推計を行った。本論第 3 節の図 1、表 2 に対応する図表が、各々補論の図 2、表 11 に対応する(記述統計量は附表 5 参照)。

固定効果モデルの「10 年未満×制度変更ダミー×トレンド項」の係数に注目すると、受給資格期間が 10 年未満であった人は、25 年以上であった人に比べ、未納率の月ごとの低下幅が 0.2~0.3%ポイント小さい<sup>6</sup>。このことから、受給資格期間が 10 年未満であった人は、受給資格期間の条件達成が容易になったことで納付意欲がやや低下した可能性が示唆される。

一見、この結果は、「国民年金被保険者実態調査」に基づく結果解釈(50~54 歳かつ本人の記憶する受給資格期間が 10 年未満の場合、期間短縮は相対的に未納率を低下させた)とは齟齬があるようにもみえる。しかし、2 つのデータに基づく分析を比較する際は、基準カテゴリーが異なることに留意する必要がある。「匿名年金情報」に基づく分析では、改正時点で同じ年齢階級内で、25 年以上の資格期間である人と比較している。「国民年金被保険者実態調査」に基づく分析では、5 歳刻みでの年齢階級変数しか識別できない(各歳年齢変数は郵送調査には入っていない)。つまり改正時点での同じ年齢階級に揃えての比較はできない(調査は 3 年おきである)ため、受給資格期間階級を揃えた上で、各調査時点における 40~44 歳の人と比較している。また「国民年金被保険者実態調査」の分析では、世帯消費額、都市規模、年金制度の周知度等、より細かく個人属性を統御しているとはいえ、改正前後の過去 2 年間の累積でみた納付率の 2 時点間の差(対する「匿名年金情報」では月ごとの納付率の差)だけをみているため、納付率低下というトレンドを十分統御できていない可能性もある。

その一方で、年金を受給するための資格期間が 10 年以上という知識が、本人の記憶する受給資格期間が 10 年未満である場合、今後の納付を拒否する割合を相対的に高めているという「国民年金被保険者実態調査」での分析結果は、月ごとの未納率の低下幅が改正後に小さくなったという「匿名年金情報」での分析結果を補完しているといえよう。

### 参考文献

阿部彩(2001)「国民年金の保険料免除制度改正未加入、未納率と逆進性への影響」『日本経済研究』43 : 134-154。

大津唯(2023)「国民年金保険料の納付状況に関する『匿名年金情報』の集計」(本報告書所収)。

厚生労働省(2011)「受給資格期間の短縮について(第 2 回社会保障審議会年金部会、資料 2)」

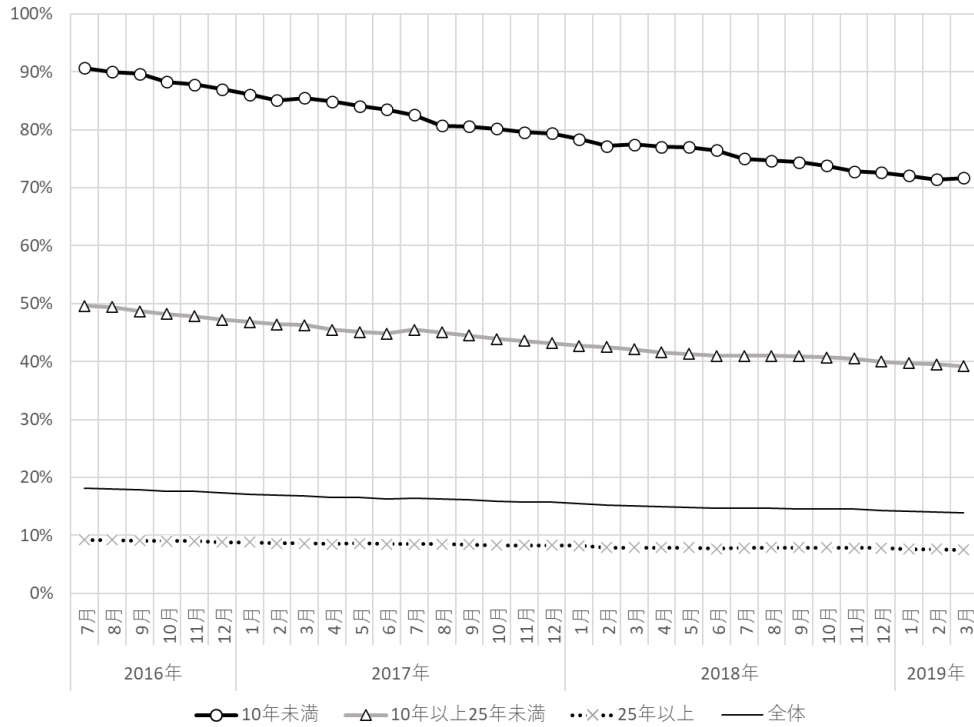
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001ofqi-att/2r9852000001ofvn.pdf>、2023 年 3 月 1 日閲覧)

——(2012)「社会保障審議会年金部会におけるこれまでの議論の整理(第 9 回社会保障審議会年金部

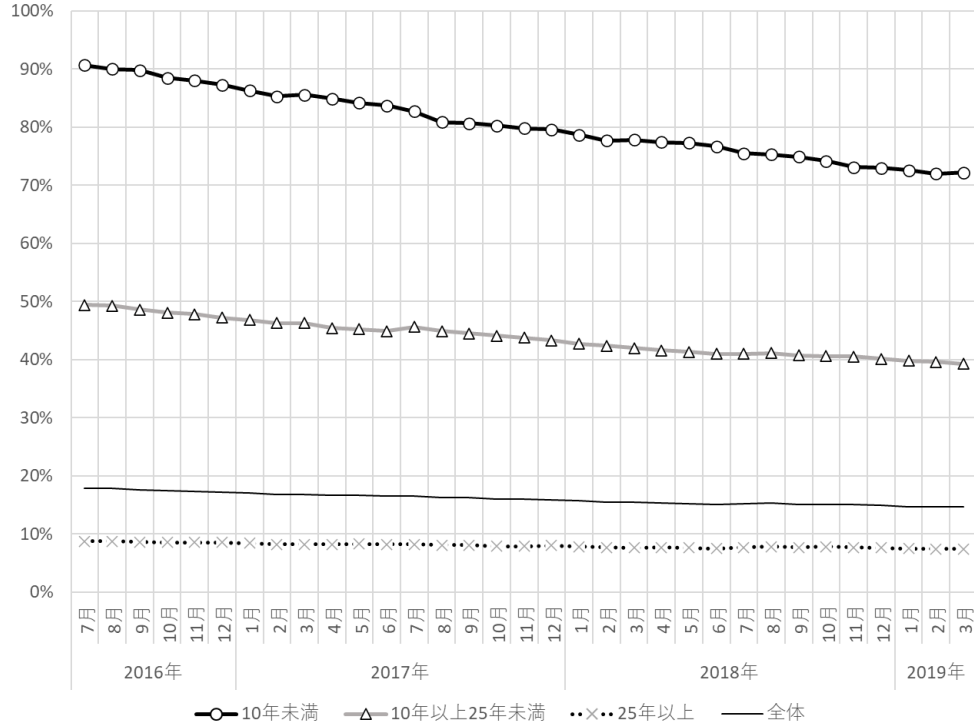
<sup>6</sup> なお、月ごとの「10 年以上 25 年未満×制度変更ダミー×トレンド項」の係数は有意でない。

- 会、参考資料) (https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000020q4b-att/2r98520000020q98.pdf、2020年9月1日閲覧)
- (2016)「公的年金制度の財政基盤及び最低保障機能の強化等のための国民年金法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律(平成28年法律第84号)の概要(第27回社会保障審議会年金事業管理部会、資料2-1)」(https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu\_Shakaihoshoutantou/si2\_7.pdf、2023年3月1日閲覧)
- (2017)「平成29年版厚生労働白書」(https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/17/index.html、2023年3月1日閲覧)
- (2019)「公的年金財政状況報告—平成29年度」  
(https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000198528\_00001.html、2023年3月1日閲覧)
- (2022)「令和2年国民年金被保険者実態調査結果の概要」(https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/140-15a-r02-01.pdf、2023年3月1日閲覧)
- 鈴木亘・周燕飛(2001)「国民年金未加入者の経済分析」『日本経済研究』42:44-60。
- ・——(2006)「コホート効果を考慮した国民年金未加入者の経済分析」『季刊社会保障研究』41(4):385-395。
- 山田篤裕(2009)「低所得層における国民年金保険料納付免除の実態—社会保険庁『国民年金被保険者実態調査』個票に基づく実証分析—」『社会政策研究』9:64-93。
- 山田篤裕(2021)「受給資格期間短縮が低所得高齢者に与えた影響」『日本年金学会誌』40:4-15。
- 湯田道生(2006)「国民年金・国民健康保険未加入者の計量分析」『経済研究』57(4):344-357。

図 1:2017 年 7 月末時点で将来的に達成可能な受給資格期間の期間別の未納率  
 (1) 60 歳以降は任意加入しないと仮定 / 50 歳以上 / 不完全パネル

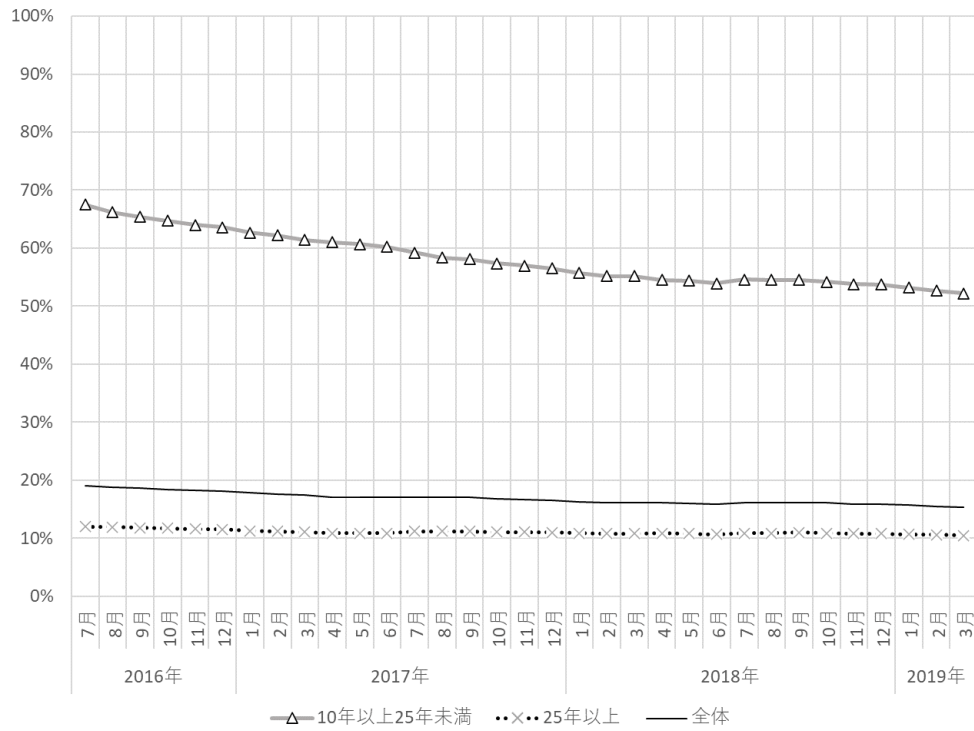


(2) 60 歳以降は任意加入しないと仮定 / 50 歳以上 / 完全パネル

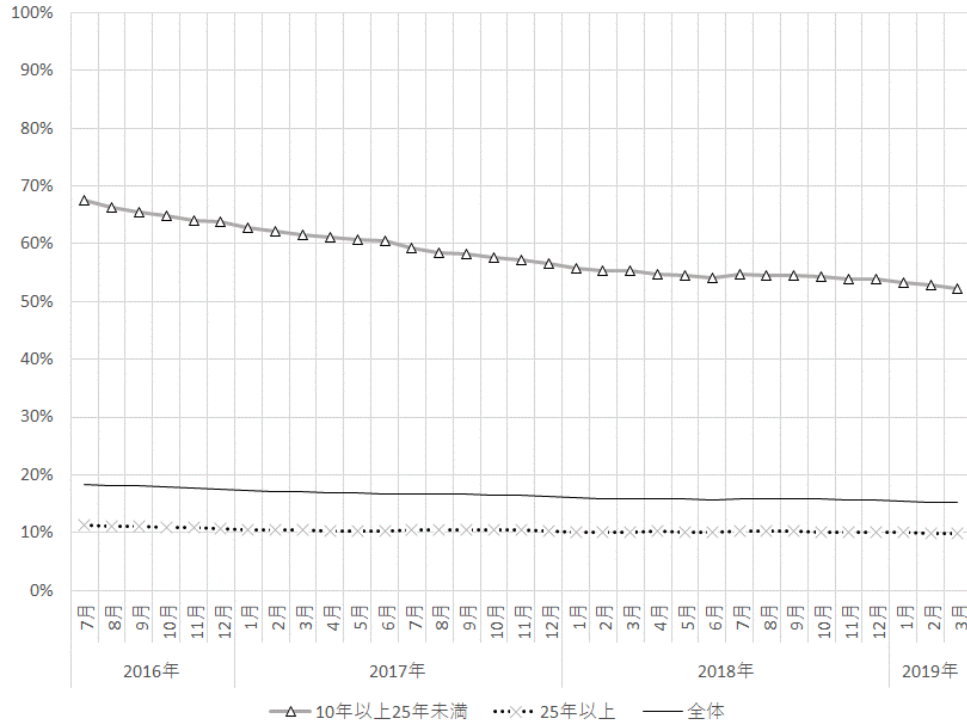


出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

図 1:2017 年 7 月末時点で将来的に達成可能な受給資格期間の期間別の未納率(つづき)  
 (3) 60 歳以降は任意加入しないと仮定/35~49 歳/不完全パネル



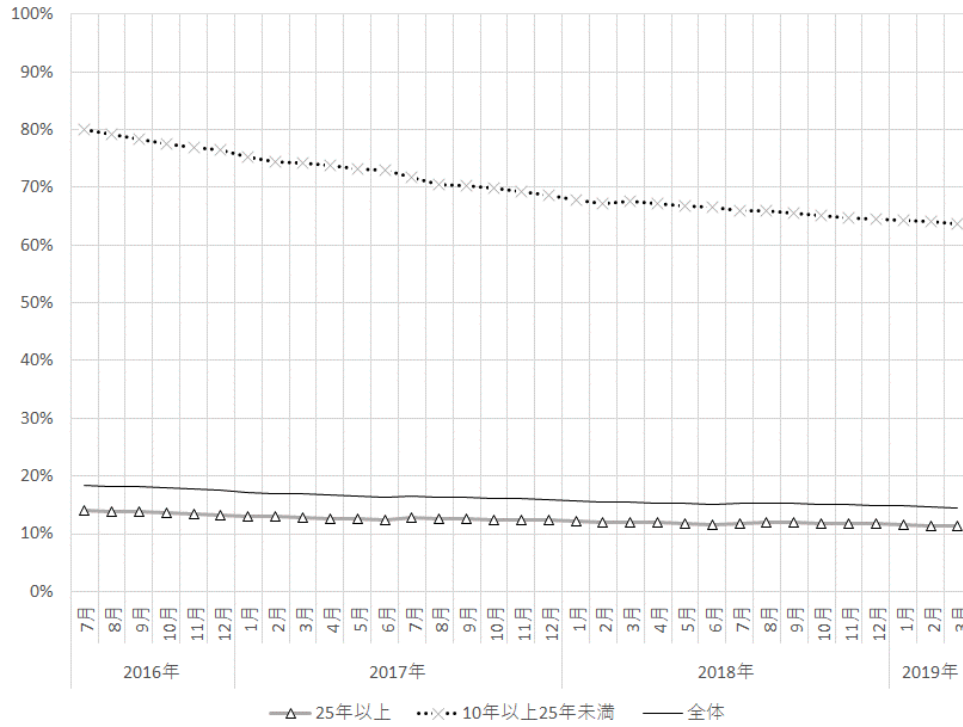
(4) 60 歳以降は任意加入しないと仮定/35~49 歳/完全パネル



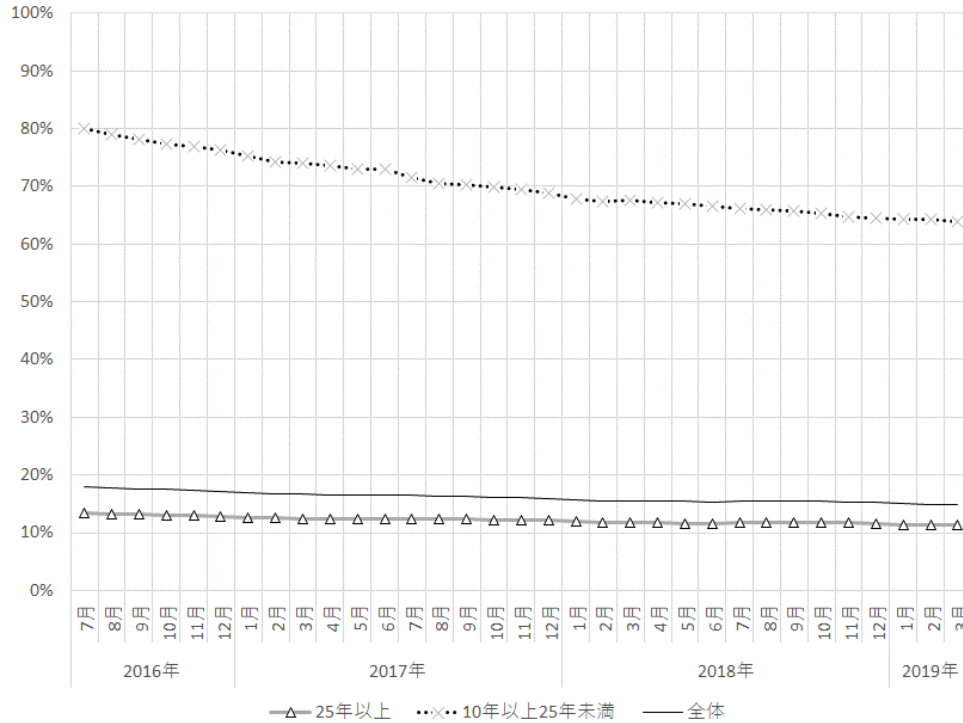
出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果。

図 1:2017 年 7 月末時点で将来的に達成可能な受給資格期間の期間別の未納率(つづき)

(5) 70 歳まで任意加入と仮定 / 45~59 歳 / 不完全パネル



(6) 70 歳まで任意加入と仮定 / 45~59 歳 / 完全パネル



出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

表 1: 受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果  
(1) 60歳以降は任意加入しないと仮定/50歳以上/不完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上)			
10年未満	4.8658*** [0.6364]	4.9079*** [0.6034]	
10年以上25年未満	2.7183*** [0.5076]	2.6994*** [0.3476]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	-0.1497 [0.1291]	-0.0868 [0.1063]	-0.0839 [0.1064]
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー			
10年未満 × 制度変更ダミー	-0.8059 [0.7658]	-0.9042 [0.8777]	-0.9075 [0.8777]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	-0.7272 [0.5739]	-0.636 [0.4846]	-0.636 [0.4846]
トレンド項 (納付対象月)	0.0002 [0.0002]	0.0003* [0.0001]	-0.0005*** [0.0001]
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項			
10年未満 × トレンド項	-0.0060*** [0.0009]	-0.0061*** [0.0009]	-0.0061*** [0.0009]
10年以上25年未満 × トレンド項	-0.0034*** [0.0007]	-0.0034*** [0.0005]	-0.0034*** [0.0005]
制度変更ダミー × トレンド項	0.0002 [0.0002]	0.0001 [0.0002]	0.0001 [0.0002]
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー × トレンド項			
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0012 [0.0011]	0.0013 [0.0013]	0.0013 [0.0013]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0011 [0.0008]	0.0009 [0.0007]	0.0009 [0.0007]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0479*** [0.0008]	-0.0512*** [0.0040]	
月齢	-0.0008*** [0.0000]	-0.0008*** [0.0001]	
定数項	0.4853*** [0.1156]	0.3945*** [0.0767]	0.9560*** [0.0814]
観測値数	635,900	635,900	635,900
自由度調整済み決定係数	0.242		
決定係数 (Within)		0.014	0.014
決定係数 (Between)		0.267	0.257
決定係数 (Overall)		0.242	0.232

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 1:受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(2) 60歳以降は任意加入しないと仮定/50歳以上/完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上)			
10年未満	4.9430*** [0.6410]	4.9430*** [0.6040]	
10年以上25年未満	2.7032*** [0.5213]	2.7032*** [0.3518]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	-0.1317 [0.1324]	-0.1317 [0.1064]	-0.1317 [0.1064]
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー			
10年未満 × 制度変更ダミー	-0.947 [0.7708]	-0.947 [0.8819]	-0.947 [0.8819]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	-0.6326 [0.5898]	-0.6326 [0.4914]	-0.6326 [0.4914]
トレンド項 (納付対象月)	0.0003 [0.0002]	0.0003+ [0.0001]	-0.0005*** [0.0001]
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項			
10年未満 × トレンド項	-0.0061*** [0.0009]	-0.0061*** [0.0009]	-0.0061*** [0.0009]
10年以上25年未満 × トレンド項	-0.0034*** [0.0008]	-0.0034*** [0.0005]	-0.0034*** [0.0005]
制度変更ダミー × トレンド項	0.0002 [0.0002]	0.0002 [0.0002]	0.0002 [0.0002]
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー × トレンド項			
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0014 [0.0011]	0.0014 [0.0013]	0.0014 [0.0013]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0009 [0.0009]	0.0009 [0.0007]	0.0009 [0.0007]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0441*** [0.0008]	-0.0441*** [0.0043]	
月齢	-0.0008*** [0.0000]	-0.0008*** [0.0001]	
定数項	0.3941*** [0.1177]	0.3941*** [0.0748]	0.9979*** [0.0818]
観測値数	575,520	575,520	575,520
自由度調整済み決定係数	0.255		
決定係数 (Within)		0.015	0.015
決定係数 (Between)		0.294	0.286
決定係数 (Overall)		0.256	0.246

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。



表 1: 受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(3) 60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/不完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.2632*** [0.3463]	4.1794*** [0.2602]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	-0.4776*** [0.0951]	-0.3647*** [0.0808]	-0.3605*** [0.0808]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	-2.0678*** [0.3957]	-2.0241*** [0.3659]	-2.0281*** [0.3659]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0005*** [0.0001]	-0.0004*** [0.0001]	-0.0008*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0055*** [0.0005]	-0.0054*** [0.0004]	-0.0054*** [0.0004]
制度変更ダミー×トレンド項	0.0007*** [0.0001]	0.0005*** [0.0001]	0.0005*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド項	0.0030*** [0.0006]	0.0029*** [0.0005]	0.0029*** [0.0005]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0463*** [0.0006]	-0.0490*** [0.0029]	
月齢	-0.0005*** [0.0000]	-0.0005*** [0.0000]	
定数項	0.7006*** [0.0846]	0.6379*** [0.0583]	1.2047*** [0.0598]
観測値数	1,392,869	1,392,869	1,392,869
自由度調整済み決定係数	0.180		
決定係数 (Within)		0.011	0.011
決定係数 (Between)		0.195	0.185
決定係数 (Overall)		0.180	0.170

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 1: 受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(4) 60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.2385*** [0.3568]	4.2385*** [0.2635]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	-0.3891*** [0.0971]	-0.3891*** [0.0799]	-0.3891*** [0.0799]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	-2.0097*** [0.4077]	-2.0097*** [0.3708]	-2.0097*** [0.3708]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0004** [0.0001]	-0.0004*** [0.0001]	-0.0009*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0054*** [0.0005]	-0.0054*** [0.0004]	-0.0054*** [0.0004]
制度変更ダミー×トレンド項	0.0006*** [0.0001]	0.0006*** [0.0001]	0.0006*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド項	0.0029*** [0.0006]	0.0029*** [0.0005]	0.0029*** [0.0005]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0423*** [0.0006]	-0.0423*** [0.0031]	
月齢	-0.0005*** [0.0000]	-0.0005*** [0.0000]	
定数項	0.6219*** [0.0860]	0.6219*** [0.0569]	1.2334*** [0.0596]
観測値数	1,249,215	1,249,215	1,249,215
自由度調整済み決定係数	0.196		
決定係数 (Within)		0.012	0.012
決定係数 (Between)		0.229	0.220
決定係数 (Overall)		0.196	0.186

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 1: 受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果(つづき)  
 (5) 70 歳まで任意加入と仮定 / 45~59 歳 / 不完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.3323*** [0.4649]	4.4523*** [0.3786]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	-0.4398*** [0.1072]	-0.2747** [0.0857]	-0.2712** [0.0858]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	-1.7151** [0.5394]	-1.8106*** [0.5272]	-1.8134*** [0.5272]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0008*** [0.0001]	-0.0005*** [0.0001]	-0.0009*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0054*** [0.0007]	-0.0056*** [0.0006]	-0.0056*** [0.0006]
制度変更ダミー×トレンド項	0.0006*** [0.0002]	0.0004** [0.0001]	0.0004** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド項	0.0025** [0.0008]	0.0026*** [0.0008]	0.0026*** [0.0008]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0590*** [0.0006]	-0.0624*** [0.0031]	
月齢	-0.0004*** [0.0000]	-0.0004*** [0.0000]	
定数項	0.9604*** [0.0958]	0.7650*** [0.0620]	1.0491*** [0.0627]
観測値数	1,156,442	1,156,442	1,156,442
自由度調整済み決定係数	0.158		
決定係数 (Within)		0.009	0.009
決定係数 (Between)		0.174	0.162
決定係数 (Overall)		0.158	0.147

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 1: 受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(6) 70 歳まで任意加入と仮定 / 45~59 歳 / 完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.5386*** [0.4744]	4.5386*** [0.3846]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	-0.2740* [0.1106]	-0.2740** [0.0860]	-0.2740** [0.0860]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	-1.9231*** [0.5499]	-1.9231*** [0.5372]	-1.9231*** [0.5372]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0005*** [0.0001]	-0.0005*** [0.0001]	-0.0009*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0057*** [0.0007]	-0.0057*** [0.0006]	-0.0057*** [0.0006]
制度変更ダミー×トレンド項	0.0004* [0.0002]	0.0004** [0.0001]	0.0004** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド項	0.0028*** [0.0008]	0.0028*** [0.0008]	0.0028*** [0.0008]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0552*** [0.0007]	-0.0552*** [0.0034]	
月齢	-0.0004*** [0.0000]	-0.0004*** [0.0000]	
定数項	0.7433*** [0.0982]	0.7433*** [0.0609]	1.0576*** [0.0623]
観測値数	1,048,443	1,048,443	1,048,443
自由度調整済み決定係数	0.167		
決定係数 (Within)		0.010	0.010
決定係数 (Between)		0.193	0.184
決定係数 (Overall)		0.167	0.158

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の線形確率モデル分析の推定結果  
 (1) 2017年7月以降とした場合 / 60歳以降は任意加入しないと仮定 / 35~49歳 / 不完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間（25年以上=0、25年未満=1）	4.1661*** [0.3897]	4.0920*** [0.2717]	
介入後ダミー（2017年6月以前=0、2017年7月以降=1）	-0.5884*** [0.1035]	-0.4697*** [0.0788]	-0.4651*** [0.0788]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー	-1.8540*** [0.4283]	-1.8230*** [0.3593]	-1.8277*** [0.3594]
トレンド項（納付対象月）	-0.0006*** [0.0001]	-0.0005*** [0.0001]	-0.0010*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0053*** [0.0006]	-0.0052*** [0.0004]	-0.0052*** [0.0004]
介入後ダミー×トレンド項	0.0009*** [0.0002]	0.0007*** [0.0001]	0.0007*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー×トレンド項	0.0027*** [0.0006]	0.0026*** [0.0005]	0.0026*** [0.0005]
性別（男性=0、女性=1）	-0.0463*** [0.0006]	-0.0490*** [0.0029]	
月齢	-0.0005*** [0.0000]	-0.0005*** [0.0000]	
定数項	0.8128*** [0.0953]	0.7483*** [0.0607]	1.3042*** [0.0623]
観測値数	1,392,869	1,392,869	1,392,869
自由度調整済み決定係数	0.180		
決定係数（Within）		0.011	0.011
決定係数（Between）		0.195	0.185
決定係数（Overall）		0.180	0.170

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(2) 2017年12月以降とした場合/60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/不完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.4200*** [0.2333]	4.3145*** [0.2545]	
介入後ダミー (2017年11月以前=0、2017年12月以降=1)	-0.2757*** [0.0828]	-0.2152* [0.0908]	-0.2120* [0.0909]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー	-2.6290*** [0.3561]	-2.5587*** [0.4009]	-2.5612*** [0.4009]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0001 [0.0001]	0 [0.0001]	-0.0005*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0057*** [0.0003]	-0.0056*** [0.0004]	-0.0056*** [0.0004]
介入後ダミー×トレンド項	0.0004*** [0.0001]	0.0003* [0.0001]	0.0003* [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー×トレンド項	0.0038*** [0.0005]	0.0037*** [0.0006]	0.0037*** [0.0006]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0463*** [0.0006]	-0.0490*** [0.0029]	
月齢	-0.0005*** [0.0000]	-0.0005*** [0.0000]	
定数項	0.4399*** [0.0566]	0.4078*** [0.0577]	0.9921*** [0.0590]
観測値数	1,392,869	1,392,869	1,392,869
自由度調整済み決定係数	0.180		
決定係数 (Within)		0.011	0.011
決定係数 (Between)		0.195	0.185
決定係数 (Overall)		0.180	0.170

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の線形確率モデル分析の推定結果(つづき)  
 (3) 2017年7月以降とした場合/60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.1453*** [0.4016]	4.1453*** [0.2743]	
介入後ダミー (2017年6月以前=0、2017年7月以降=1)	-0.4856*** [0.1055]	-0.4856*** [0.0775]	-0.4856*** [0.0775]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー	-1.8009*** [0.4413]	-1.8009*** [0.3644]	-1.8009*** [0.3644]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0005*** [0.0001]	-0.0005*** [0.0001]	-0.0010*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0053*** [0.0006]	-0.0053*** [0.0004]	-0.0053*** [0.0004]
介入後ダミー×トレンド項	0.0007*** [0.0002]	0.0007*** [0.0001]	0.0007*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー×トレンド項	0.0026*** [0.0006]	0.0026*** [0.0005]	0.0026*** [0.0005]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0423*** [0.0006]	-0.0423*** [0.0031]	
月齢	-0.0005*** [0.0000]	-0.0005*** [0.0000]	
定数項	0.7197*** [0.0968]	0.7197*** [0.0587]	1.3193*** [0.0617]
観測値数	1,249,215	1,249,215	1,249,215
自由度調整済み決定係数	0.196		0.012
決定係数 (Within)		0.012	0.012
決定係数 (Between)		0.229	0.220
決定係数 (Overall)		0.196	0.186

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の線形確率モデル分析の推定結果(つづき)  
 (4) 2017年12月以降とした場合/60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.3960*** [0.2404]	4.3960*** [0.2584]	
介入後ダミー (2017年11月以前=0、2017年12月以降=1)	-0.2220** [0.0852]	-0.2220* [0.0905]	-0.2220* [0.0905]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー	-2.5555*** [0.3669]	-2.5555*** [0.4054]	-2.5555*** [0.4054]
トレンド項 (納付対象月)	0 [0.0001]	0 [0.0001]	-0.0005*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0057*** [0.0004]	-0.0057*** [0.0004]	-0.0057*** [0.0004]
介入後ダミー×トレンド項	0.0003** [0.0001]	0.0003* [0.0001]	0.0003* [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー×トレンド項	0.0037*** [0.0005]	0.0037*** [0.0006]	0.0037*** [0.0006]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0423*** [0.0006]	-0.0423*** [0.0031]	
月齢	-0.0005*** [0.0000]	-0.0005*** [0.0000]	
定数項	0.3948*** [0.0577]	0.3948*** [0.0575]	1.0266*** [0.0596]
観測値数	1,249,215	1,249,215	1,249,215
自由度調整済み決定係数	0.196		
決定係数 (Within)		0.012	0.012
決定係数 (Between)		0.229	0.220
決定係数 (Overall)		0.196	0.186

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。



表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の線形確率モデル分析の推定結果(つづき)  
(5) 2017年7月以降とした場合/70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/不完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.2246*** [0.5213]	4.3824*** [0.4007]	
介入後ダミー (2017年6月以前=0、2017年7月以降=1)	-0.5258*** [0.1169]	-0.3475*** [0.0837]	-0.3434*** [0.0837]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー	-1.5132** [0.5796]	-1.6483** [0.5250]	-1.6522** [0.5250]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0010*** [0.0002]	-0.0006*** [0.0001]	-0.0011*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0053*** [0.0008]	-0.0055*** [0.0006]	-0.0055*** [0.0006]
介入後ダミー×トレンド項	0.0008*** [0.0002]	0.0005*** [0.0001]	0.0005*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー×トレンド項	0.0022* [0.0008]	0.0024** [0.0008]	0.0024** [0.0008]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0590*** [0.0006]	-0.0624*** [0.0031]	
月齢	-0.0004*** [0.0000]	-0.0004*** [0.0000]	
定数項	1.0605*** [0.1080]	0.8563*** [0.0644]	1.1356*** [0.0653]
観測値数	1,156,442	1,156,442	1,156,442
自由度調整済み決定係数	0.158		
決定係数 (Within)		0.009	0.009
決定係数 (Between)		0.174	0.162
決定係数 (Overall)		0.158	0.147

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(6) 2017年12月以降とした場合/70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/不完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.5374*** [0.3166]	4.5784*** [0.3547]	
介入後ダミー (2017年11月以前=0、2017年12月以降=1)	-0.3418*** [0.0923]	-0.2448* [0.0952]	-0.2433* [0.0952]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー	-2.1329*** [0.4996]	-2.1480*** [0.5612]	-2.1476*** [0.5612]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0005*** [0.0001]	-0.0003** [0.0001]	-0.0007*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0057*** [0.0005]	-0.0058*** [0.0005]	-0.0058*** [0.0005]
介入後ダミー×トレンド項	0.0005*** [0.0001]	0.0004* [0.0001]	0.0003* [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー×トレンド項	0.0031*** [0.0007]	0.0031*** [0.0008]	0.0031*** [0.0008]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0590*** [0.0006]	-0.0624*** [0.0031]	
月齢	-0.0004*** [0.0000]	-0.0004*** [0.0000]	
定数項	0.7665*** [0.0638]	0.6288*** [0.0609]	0.9224*** [0.0612]
観測値数	1,156,442	1,156,442	1,156,442
自由度調整済み決定係数	0.158		
決定係数 (Within)		0.009	0.009
決定係数 (Between)		0.174	0.162
決定係数 (Overall)		0.158	0.147

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(7) 2017年7月以降とした場合/70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.4639*** [0.5322]	4.4639*** [0.4066]	
介入後ダミー (2017年6月以前=0、2017年7月以降=1)	-0.3319** [0.1203]	-0.3319*** [0.0837]	-0.3319*** [0.0837]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー	-1.7659** [0.5913]	-1.7659*** [0.5345]	-1.7659*** [0.5345]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0006*** [0.0002]	-0.0006*** [0.0001]	-0.0010*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0056*** [0.0008]	-0.0056*** [0.0006]	-0.0056*** [0.0006]
介入後ダミー×トレンド項	0.0005** [0.0002]	0.0005*** [0.0001]	0.0005*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー×トレンド項	0.0025** [0.0009]	0.0025** [0.0008]	0.0025** [0.0008]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0552*** [0.0007]	-0.0552*** [0.0034]	
月齢	-0.0004*** [0.0000]	-0.0004*** [0.0000]	
定数項	0.8182*** [0.1107]	0.8182*** [0.0630]	1.1274*** [0.0648]
観測値数	1,048,443	1,048,443	1,048,443
自由度調整済み決定係数	0.167		
決定係数 (Within)		0.010	0.010
決定係数 (Between)		0.193	0.184
決定係数 (Overall)		0.167	0.158

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(8) 2017年12月以降とした場合/70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	4.6105*** [0.3227]	4.6105*** [0.3616]	
介入後ダミー (2017年11月以前=0、2017年12月以降=1)	-0.2518** [0.0964]	-0.2518** [0.0963]	-0.2518** [0.0963]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー	-2.1912*** [0.5084]	-2.1912*** [0.5710]	-2.1912*** [0.5710]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0004*** [0.0001]	-0.0004*** [0.0001]	-0.0007*** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	-0.0058*** [0.0005]	-0.0058*** [0.0005]	-0.0058*** [0.0005]
介入後ダミー×トレンド項	0.0004** [0.0001]	0.0004** [0.0001]	0.0004** [0.0001]
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×介入後ダミー×トレンド項	0.0032*** [0.0007]	0.0032*** [0.0008]	0.0032*** [0.0008]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0552*** [0.0007]	-0.0552*** [0.0034]	
月齢	-0.0004*** [0.0000]	-0.0004*** [0.0000]	
定数項	0.6259*** [0.0656]	0.6259*** [0.0606]	0.9451*** [0.0614]
観測値数	1,048,443	1,048,443	1,048,443
自由度調整済み決定係数	0.167		
決定係数 (Within)		0.010	0.010
決定係数 (Between)		0.193	0.184
決定係数 (Overall)		0.167	0.158

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 3:「国民年金被保険者実態調査」での保険料納付状況の類型

	2017年調査	2020年調査
①完納者	2015年度及び2016年度の納付対象月の保険料をすべて納付した者	2018年度及び2019年度の納付対象月の保険料をすべて納付した者
②一部納付者	2015年度及び2016年度の納付対象月の一部について、保険料を納付していない者	2018年度及び2019年度の納付対象月の一部について、保険料を納付していない者
③1号期間滞納者	2015年度及び2016年度の納付対象月保険料を全く納付していない者	2018年度及び2019年度の納付対象月保険料を全く納付していない者
④申請全額免除者	2016年度末に保険料の申請全額免除を受けている者	2019年度末に保険料の申請全額免除を受けている者
⑤学生納付特例者	2016年度末に保険料の学生納付特例を受けている者	2019年度末に保険料の学生納付特例を受けている者
⑥納付猶予者	2016年度末に保険料の納付猶予を受けている者	2019年度末に保険料の納付猶予を受けている者

出典:「国民年金被保険者実態調査」各年度調査の用語の解説 ([https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/shakai\\_hoken/k-nenkin/h23/index.html#08](https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/shakai_hoken/k-nenkin/h23/index.html#08), 2022年3月15日閲覧)

表 4:1号期間滞納者の割合の変化(2017年と2020年の比較)

(1) 自分自身の資格期間が25年以上であると考えている者

	2017	2020	(差)	N(2017)	N(2020)
40～44歳	17.4	14.5	-2.9	217	212
45～49歳**	13.4	7.3	-6.1	461	407
50～54歳**	11.5	6.6	-4.9	585	531
55～59歳*	9.7	6.8	-2.9	835	669

(2) 自分自身の資格期間が10年以上25年未満であると考えている者

	2017	2020	(差)	N(2017)	N(2020)
25～29歳	30.1	24.3	-5.8	315	270
30～34歳	23.4	19.8	-3.6	572	503
35～39歳*	21.7	16.1	-5.6	751	731
40～44歳**	20.2	15.1	-5.1	835	930
45～49歳*	28.4	21.9	-6.5	651	732
50～54歳	31.7	30.1	-1.6	508	530
55～59歳	38.4	32.7	-5.7	339	430

(3) 自分自身の資格期間が10年未満であると考えている者

	2017	2020	(差)	N(2017)	N(2020)
20～24歳	35.7	31.8	-3.9	473	526
25～29歳	43.1	38.2	-4.9	638	560
30～34歳*	54.8	46.2	-8.6	422	408
35～39歳	56.7	58.0	1.3	296	358
40～44歳	67.3	60.7	-6.6	274	339
45～49歳	69.9	62.7	-7.2	253	305
50～54歳*	60.6	48.6	-12.0	247	322
55～59歳	38.4	33.6	-4.8	232	248

出典:「国民年金被保険者実態調査」(調査票情報)に基づき、集計乗率により重みづけした推計結果

注: \*\* p<0.05, \* p<0.01, † p<0.1

表 5:未納者の割合の変化(2017 年と 2020 年の比較)

(1) 自分自身の資格期間が 25 年以上であると考えている者

	2017	2020	(差)	N(2017)	N(2020)
40～44歳	28.7	28.2	-0.5	217	212
45～49歳**	26.7	17.2	-9.5	461	407
50～54歳**	24.5	16.3	-8.2	585	531
55～59歳**	21.8	15.7	-6.1	835	669

(2) 自分自身の資格期間が 10 年以上 25 年未満であると考えている者

	2017	2020	(差)	N(2017)	N(2020)
25～29歳	52.8	46.5	-6.3	315	270
30～34歳	43.5	39.0	-4.5	572	503
35～39歳*	38.5	31.5	-7.0	751	731
40～44歳**	38.0	29.4	-8.6	835	930
45～49歳*	46.5	38.3	-8.2	651	732
50～54歳	47.5	48.7	1.2	508	530
55～59歳	55.5	50.7	-4.8	339	430

(3) 自分自身の資格期間が 10 年未満であると考えている者

	2017	2020	(差)	N(2017)	N(2020)
20～24歳	50.6	44.8	-5.8	473	526
25～29歳†	62.3	55.4	-6.9	638	560
30～34歳	73.4	66.1	-7.3	422	408
35～39歳	78.0	76.9	-1.1	296	358
40～44歳	81.7	77.0	-4.7	274	339
45～49歳	80.3	80.5	0.2	253	305
50～54歳†	77.0	65.7	-11.3	247	322
55～59歳	47.7	47.1	-0.6	232	248

出典:「国民年金被保険者実態調査」(調査票情報)に基づき、集計乗率により重みづけした推計結果

注: \*\* p<0.05, \* p<0.01, † p<0.1。括弧内は標準誤差を表す。

表 6: 国民年金制度の周知度に関する変数の詳細

変数	調査票上の文言
周知度：資格期間10年以上	老後に年金を受けるためには、通常、 <u>保険料を納めた期間と、免除されていた期間を合わせて10年以上必要</u> である
周知度：満額年金要件	満額の年金を老後に受けるためには、 <u>保険料を40年納付する必要</u> があり、保険料を納めた期間が短ければ、その分、年金の受け取り額が少なくなる
周知度：給付水準の実質価値維持	物価や国民生活水準の変動に応じて年金額が改定され、 <u>受けられる年金の実質的な価値がなるべく変わらないような仕組み</u> である
周知度：障害年金の存在	病気や事故で障害が残ったときに受けられる <u>障害年金</u> がある
周知度：遺族年金の存在	本人の死亡時に、遺族の方が受けられる <u>遺族年金</u> がある
周知度：2分の1国庫負担	年金額の $1/2$ は税金でまかなわれている
周知度：社会保険料控除	保険料を納めると、 <u>その年に納めた保険料額の全額が税金の計算のときに所得から差し引かれる</u> ので、納めなければならない税金は少なくなる
周知度：上乗せ給付の存在	任意でより多くの保険料を支払うことにより、付加年金などの <u>上乗せの給付</u> が利用できる
周知度：年金生活者支援給付金の存在	受け取る年金の額が少なく、年金以外の所得も少ない場合は、税金でまかなわれる給付金（年金生活者支援給付金）が受け取れる
周知度：世代間再分配	現在働いている世代が納める保険料によって、現在の <u>高齢者の年金給付をまかなう仕組み</u> となっている
周知度：未納期間の追納可能期間	保険料を納め忘れた場合でも、 <u>過去2年分までさかのぼって納めることができる</u>
周知度：滞納保険料の強制徴収	保険料の納付は義務であり、 <u>滞納した保険料は財産の差押など強制徴収の対象</u> となり得る
周知度：免除制度	経済的な理由で保険料を納めることができない場合、世帯の所得などに応じて保険料の全部、または一部が免除される制度（免除制度）がある
周知度：保険料納付猶予制度	所得の少ない50歳未満の方のために保険料の全部が猶予される制度（保険料納付猶予制度）がある
周知度：免除・猶予期間の追納可能期間	保険料を免除または猶予された期間のうち、過去10年間分については、さかのぼって保険料を納める仕組み（追納制度）がある

出典：「国民年金被保険者実態調査」調査票の質問 1 および質問 2 ([https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/shakai\\_hoken/k-nenkin/h23/index.html#08](https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/shakai_hoken/k-nenkin/h23/index.html#08)、2022年3月15日閲覧)

注：文言の下線は質問票に表記されているとおりである。また2020年調査とは異なり、2017年調査では「周知度：年金生活者支援給付金の存在」については平成31年10月までに実施される旨、「周知度：未納期間の追納可能期間」については平成30年9月までは過去5年分までさかのぼって納めることができる旨、脚注が示されている。



表 7: 1号期間滞納率に関する Logit 分析(オッズ比)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
女性	0.792** (0.0101)	0.787** (0.0619)	0.861** (0.0336)	0.857** (0.00795)	0.760** (0.0342)	0.803** (0.0563)	0.799** (0.0537)	0.819** (0.0306)
20～24歳	1.472* (0.272)			0.334** (0.0345)	1.153 (0.207)			0.287** (0.0309)
25～29歳	1.306 (0.222)		1.416* (0.198)	0.335** (0.0365)	1.071 (0.125)		1.203+ (0.132)	0.297** (0.0635)
30～34歳	1.099 (0.0997)		1.042 (0.0421)	0.516** (0.0287)	0.953 (0.0621)		0.961 (0.0446)	0.463** (0.0663)
35～39歳	1.117+ (0.0717)		1.086** (0.0210)	0.628** (0.0639)	1.004 (0.0535)		1.056 (0.0373)	0.538** (0.0229)
45～49歳	1.034+ (0.0178)	0.689** (0.0241)	1.541** (0.109)	1.099 (0.178)	1.032 (0.0537)	0.756** (0.0310)	1.473** (0.0889)	1.148 (0.110)
50～54歳	0.971 (0.0236)	0.641** (0.0293)	1.930** (0.0322)	0.907 (0.120)	1.000 (0.0402)	0.668** (0.0278)	2.067** (0.0964)	0.827 (0.122)
55～59歳	0.657** (0.0493)	0.556** (0.0267)	2.663** (0.435)	0.287* (0.150)	0.671** (0.0456)	0.619** (0.0530)	2.383** (0.332)	0.289* (0.161)
2020年	0.730** (0.0602)	0.689** (0.0699)	0.684** (0.0874)	0.750** (0.0411)	0.713** (0.0699)	0.623** (0.0617)	0.695** (0.0919)	0.651** (0.0760)
20～24歳×2020年	1.125 (0.205)			1.085 (0.127)	1.130 (0.169)			1.068 (0.144)
25～29歳×2020年	1.172** (0.0630)		1.122 (0.183)	1.097 (0.112)	1.168+ (0.102)		1.088 (0.152)	1.212** (0.0597)
30～34歳×2020年	1.183** (0.0726)		1.330+ (0.202)	1.012 (0.0460)	1.098** (0.0261)		1.203+ (0.126)	1.036 (0.0414)
35～39歳×2020年	1.034 (0.0341)		1.073+ (0.0437)	1.198 (0.171)	1.061 (0.0402)		1.028 (0.0193)	1.469** (0.0312)
45～49歳×2020年	1.056 (0.0696)	0.812 (0.127)	1.076 (0.0864)	1.178 (0.418)	1.006 (0.0595)	0.806+ (0.102)	1.074 (0.164)	1.155 (0.325)
50～54歳×2020年	1.101+ (0.0637)	0.774+ (0.108)	1.481 (0.415)	0.671 (0.224)	1.063 (0.0671)	0.833* (0.0720)	1.354 (0.308)	0.750 (0.238)
55～59歳×2020年	1.099** (0.0228)	1.032 (0.131)	1.127 (0.135)	1.085 (0.133)	1.160** (0.0496)	1.148 (0.117)	1.209* (0.101)	1.136 (0.267)

表 7:1号期間滞納率に関する Logit 分析(オッズ比) (つづき)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
世帯消費月額 (ln)	0.735** (0.0555)	0.696** (0.0395)	0.756** (0.0602)	0.793** (0.0350)	0.779** (0.0505)	0.739** (0.0434)	0.787** (0.0589)	0.792** (0.0547)
大都市	1.072* (0.0295)	1.130* (0.0598)	1.069* (0.0319)	1.101+ (0.0607)	1.085* (0.0355)	1.185* (0.0875)	1.044 (0.0403)	1.102 (0.0667)
小都市・市町村	0.773** (0.0445)	0.695** (0.0237)	0.810** (0.0488)	0.842** (0.0349)	0.759** (0.0531)	0.674** (0.0230)	0.783** (0.0614)	0.827** (0.0415)
生命保険料月額 (ln)	0.955** (0.00336)	0.979** (0.00157)	0.963** (0.00358)	0.951** (0.00463)	0.957** (0.00497)	0.982** (0.00212)	0.962** (0.00607)	0.952** (0.00538)
個人年金保険料月額 (ln)	0.929** (0.0117)	0.913** (0.0110)	0.923** (0.0149)	0.963+ (0.0202)	0.935** (0.0129)	0.916** (0.0145)	0.929** (0.0151)	0.968+ (0.0190)
家族従業者	0.583** (0.0678)	0.688** (0.0200)	0.593** (0.0565)	0.569* (0.135)	0.593** (0.0791)	0.683** (0.0342)	0.608** (0.0605)	0.584* (0.135)
常用雇用	1.732** (0.107)	2.165** (0.188)	2.105** (0.299)	1.230** (0.0342)	1.659** (0.0988)	2.020** (0.155)	2.021** (0.319)	1.205** (0.0821)
週労働30時間以上	1.785** (0.292)	2.149** (0.524)	1.832** (0.225)	1.504** (0.217)	1.632** (0.217)	2.103* (0.650)	1.731** (0.182)	1.419* (0.203)
週労働20時間以上30時間未満	1.540** (0.0259)	2.100** (0.219)	1.664** (0.0951)	1.181** (0.0636)	1.435** (0.00728)	1.777** (0.142)	1.527** (0.0830)	1.174** (0.0715)
週労働20時間未満	1.681** (0.0452)	2.243** (0.340)	1.778** (0.0300)	1.192** (0.0687)	1.631** (0.0471)	2.090** (0.320)	1.850** (0.130)	1.227** (0.0530)
臨時	2.627** (0.193)	4.792** (0.295)	2.423** (0.271)	2.142** (0.165)	2.131** (0.108)	3.432** (0.546)	2.037** (0.145)	1.918** (0.108)
無業	1.480** (0.140)	1.994** (0.0775)	1.394** (0.118)	1.335 (0.289)	1.482** (0.140)	1.942** (0.108)	1.449** (0.0680)	1.392+ (0.251)

表 7:1号期間滞納率に関する Logit 分析(オッズ比) (つづき)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
周知度：資格期間10年以上					0.957 (0.0289)	0.885* (0.0461)	0.899** (0.0327)	1.117** (0.0216)
周知度：満額年金要件					0.954** (0.0115)	1.220** (0.0226)	0.888** (0.0320)	0.883 (0.0868)
周知度：給付水準の実質価値維持					1.386** (0.150)	1.195* (0.107)	1.266* (0.133)	1.360 (0.259)
周知度：障害年金の存在					1.013 (0.0175)	0.995 (0.0389)	1.014 (0.0323)	1.003 (0.0119)
周知度：遺族年金の存在					1.029 (0.0420)	0.984 (0.0224)	0.880* (0.0453)	1.015 (0.118)
周知度：2分の1国庫負担					1.199* (0.0873)	1.252** (0.101)	1.199** (0.0600)	0.992 (0.0777)
周知度：社会保険料控除					1.296** (0.0520)	1.329** (0.0378)	1.423** (0.121)	1.120** (0.0464)
周知度：上乘せ給付の存在					2.272** (0.399)	2.193** (0.184)	1.911** (0.279)	2.406** (0.779)
周知度：年金生活者支援給付金の存在					0.946 (0.0494)	0.847** (0.0108)	0.971 (0.109)	0.765** (0.0690)
周知度：世代間再分配					1.473** (0.175)	1.689** (0.159)	1.228* (0.116)	1.133 (0.136)
周知度：未納期間の追納可能期間					0.997 (0.130)	0.990 (0.0835)	0.914 (0.124)	1.103 (0.195)
周知度：滞納保険料の強制徴収					0.990 (0.124)	0.785** (0.0633)	0.919 (0.148)	1.217 (0.162)
周知度：免除制度					0.505** (0.116)	0.491** (0.0763)	0.503** (0.108)	0.497* (0.153)
周知度：保険料納付猶予制度					0.637** (0.0886)	0.700** (0.0711)	0.642** (0.100)	0.699+ (0.140)
周知度：免除・猶予期間の追納可能期間					1.254** (0.0845)	1.340** (0.134)	1.137** (0.0174)	1.373+ (0.264)
定数項	18.42+ (28.45)	15.33+ (24.45)	7.901 (10.22)	40.35** (55.30)	5.899 (9.231)	5.363 (8.574)	4.168 (5.466)	28.12* (42.78)
N	17,488	3,314	6,921	4,555	17,099	3,246	6,762	4,461
pseudo R-squared	0.0787	0.0758	0.0704	0.0690	0.133	0.118	0.109	0.122
log likelihood	-6.844e+06	-1.017e+06	-2.534e+06	-1.688e+06	-6.290e+06	-953684	-2.366e+06	-1.558e+06

出典：「国民年金被保険者実態調査」(調査票情報)に基づき、集計乗率により重みづけした推計結果

注：\*\* p<0.05, \* p<0.01, † p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。基準カテゴリーは 40～44 歳、2017 年、中都市、自営業主。

表 8:未納率に関する Logit 分析(オッズ比)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
女性	0.845*	0.773**	0.942	0.916	0.797**	0.761**	0.848*	0.840*
	(0.0669)	(0.0259)	(0.0740)	(0.0653)	(0.0598)	(0.00417)	(0.0688)	(0.0608)
20~24歳	1.709**			0.382**	1.488**			0.348**
	(0.0877)			(0.108)	(0.103)			(0.105)
25~29歳	1.542**		1.587**	0.365**	1.315*		1.400**	0.319**
	(0.0365)		(0.0938)	(0.0998)	(0.149)		(0.123)	(0.0900)
30~34歳	1.252**		1.131**	0.552**	1.117		1.091	0.475**
	(0.0661)		(0.0531)	(0.0852)	(0.103)		(0.0858)	(0.0845)
35~39歳	1.198**		1.082**	0.777	1.122*		1.099**	0.631**
	(0.0219)		(0.0250)	(0.147)	(0.0648)		(0.0181)	(0.0872)
45~49歳	0.981	0.887	1.385*	0.901	1.009	0.969	1.361*	0.978
	(0.0381)	(0.173)	(0.192)	(0.0701)	(0.0680)	(0.170)	(0.205)	(0.116)
50~54歳	0.904*	0.856	1.501	0.916	0.968	0.903	1.684*	0.931
	(0.0390)	(0.193)	(0.404)	(0.132)	(0.0368)	(0.207)	(0.416)	(0.155)
55~59歳	0.644**	0.824	2.010*	0.188**	0.707**	0.942	2.042**	0.194**
	(0.0473)	(0.249)	(0.615)	(0.0108)	(0.0660)	(0.271)	(0.520)	(0.0255)
2020年	0.741**	0.922	0.677**	0.721**	0.723**	0.864	0.686**	0.616**
	(0.0442)	(0.178)	(0.0387)	(0.0641)	(0.0509)	(0.216)	(0.0355)	(0.0290)
20~24歳×2020年	1.327**			1.308**	1.334**			1.229
	(0.143)			(0.109)	(0.0868)			(0.173)
25~29歳×2020年	1.153**		1.273**	1.044	1.144		1.249**	1.123*
	(0.0501)		(0.106)	(0.103)	(0.0967)		(0.0479)	(0.0569)
30~34歳×2020年	1.090		1.363**	1.050	1.018		1.235**	1.048
	(0.0876)		(0.118)	(0.0578)	(0.0585)		(0.0694)	(0.0389)
35~39歳×2020年	0.992		1.080**	1.076	0.965		0.971	1.327**
	(0.0239)		(0.0226)	(0.127)	(0.0364)		(0.0391)	(0.0498)
45~49歳×2020年	1.084+	0.674**	1.170*	1.766**	1.036	0.648**	1.204+	1.627**
	(0.0519)	(0.0737)	(0.0717)	(0.173)	(0.0593)	(0.0783)	(0.133)	(0.121)
50~54歳×2020年	1.114**	0.651**	1.697**	0.613**	1.051	0.654*	1.511**	0.630**
	(0.0410)	(0.0632)	(0.185)	(0.113)	(0.0661)	(0.128)	(0.0820)	(0.109)
55~59歳×2020年	1.073	0.710+	1.293**	1.319**	1.097	0.740	1.273**	1.378+
	(0.0492)	(0.145)	(0.0623)	(0.133)	(0.0929)	(0.192)	(0.0249)	(0.238)

表 8:未納率に関する Logit 分析(オッズ比)(つづき)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
世帯消費月額 (ln)	0.736** (0.0444)	0.704** (0.0357)	0.767** (0.0417)	0.802** (0.0385)	0.776** (0.0379)	0.732** (0.0244)	0.795** (0.0414)	0.796** (0.0546)
大都市	1.092** (0.00119)	1.170** (0.0312)	1.076** (0.0119)	1.154** (0.0334)	1.076** (0.0138)	1.139** (0.0518)	1.035 (0.0261)	1.166** (0.0640)
小都市・市町村	0.779** (0.0463)	0.817 (0.118)	0.800** (0.0296)	0.823** (0.0423)	0.764** (0.0500)	0.790+ (0.110)	0.770** (0.0366)	0.831** (0.0443)
生命保険料月額 (ln)	0.970+ (0.0171)	0.993 (0.0105)	0.980 (0.0158)	0.960** (0.0126)	0.970+ (0.0158)	0.992 (0.00847)	0.978 (0.0153)	0.959** (0.0130)
個人年金保険料月額 (ln)	0.929** (0.0106)	0.923** (0.0123)	0.930** (0.0139)	0.942** (0.00353)	0.933** (0.00885)	0.921** (0.0105)	0.935** (0.0119)	0.947** (0.00741)
家族従業者	0.602** (0.0564)	0.755** (0.0551)	0.614** (0.0564)	0.483** (0.0151)	0.621** (0.0725)	0.748** (0.0612)	0.644** (0.0674)	0.517** (0.0439)
常用雇用	1.557** (0.258)	1.813** (0.314)	1.822** (0.383)	1.139 (0.135)	1.507* (0.261)	1.749** (0.245)	1.782** (0.389)	1.136 (0.169)
週労働30時間以上	1.851** (0.195)	2.646** (0.0500)	1.670** (0.256)	1.610** (0.180)	1.709** (0.143)	2.533** (0.109)	1.590** (0.218)	1.572** (0.138)
週労働20時間以上30時間未満	1.371* (0.192)	1.722** (0.291)	1.451* (0.240)	1.021 (0.105)	1.285* (0.145)	1.490** (0.199)	1.364** (0.148)	1.029 (0.112)
週労働20時間未満	1.426* (0.256)	1.898** (0.318)	1.400 (0.316)	1.041 (0.115)	1.403* (0.221)	1.817** (0.273)	1.464+ (0.315)	1.076 (0.126)
臨時	2.094* (0.640)	2.501 (1.530)	1.924* (0.526)	1.810* (0.447)	1.696+ (0.521)	1.871 (1.154)	1.600+ (0.424)	1.685** (0.296)
無業	1.077 (0.256)	1.200 (0.451)	1.046 (0.223)	0.887 (0.205)	1.088 (0.243)	1.174 (0.431)	1.115 (0.218)	0.948 (0.224)

表 8: 未納率に関する Logit 分析(オッズ比) (つづき)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
周知度：資格期間10年以上					0.908** (0.0247)	0.850** (0.0262)	0.890** (0.0242)	1.078 (0.0752)
周知度：満額年金要件					1.006 (0.0401)	1.164** (0.0606)	0.982 (0.0602)	0.844** (0.0542)
周知度：給付水準の実質価値維持					1.483** (0.0283)	1.359** (0.0615)	1.412** (0.0151)	1.676** (0.0474)
周知度：障害年金の存在					1.041** (0.0137)	1.066 (0.0647)	1.031** (0.00393)	0.977 (0.0411)
周知度：遺族年金の存在					1.063** (0.0207)	0.961 (0.0522)	0.896* (0.0397)	1.164** (0.0135)
周知度：2分の1国庫負担					1.191** (0.0525)	1.205** (0.0740)	1.166** (0.0565)	1.040 (0.0676)
周知度：社会保険料控除					1.255** (0.0758)	1.154 (0.122)	1.352** (0.101)	1.079 (0.0736)
周知度：上乘せ給付の存在					2.212** (0.421)	1.775** (0.373)	1.873** (0.284)	2.770** (0.504)
周知度：年金生活者支援給付金の存在					1.030 (0.0762)	1.015 (0.121)	1.107 (0.112)	0.737** (0.0593)
周知度：世代間再分配					1.539** (0.0981)	1.440* (0.238)	1.392** (0.0349)	1.262** (0.0881)
周知度：未納期間の追納可能期間					0.811* (0.0739)	0.755+ (0.110)	0.745** (0.0649)	0.852+ (0.0825)
周知度：滞納保険料の強制徴収					0.763+ (0.111)	0.683** (0.0488)	0.689* (0.101)	0.957 (0.127)
周知度：免除制度					0.457** (0.0348)	0.530** (0.0618)	0.459** (0.0276)	0.395** (0.0594)
周知度：保険料納付猶予制度					0.607** (0.0517)	0.676** (0.0290)	0.618** (0.0531)	0.553** (0.0205)
周知度：免除・猶予期間の追納可能期間					1.297** (0.0411)	1.330** (0.0714)	1.151** (0.0381)	1.676** (0.0289)
定数項	38.25* (66.17)	26.85+ (48.59)	16.63* (23.46)	86.51* (156.4)	15.27+ (24.38)	15.55 (26.86)	9.951+ (12.85)	76.05** (121.3)
N	17,488	3,314	6,921	4,555	17,099	3,246	6,762	4,461
pseudo R-squared	0.0789	0.0602	0.0565	0.0805	0.140	0.0984	0.110	0.156
log likelihood	-8.147e+06	-1.711e+06	-3.210e+06	-1.512e+06	-7.441e+06	-1.610e+06	-2.960e+06	-1.357e+06

出典：「国民年金被保険者実態調査」(調査票情報)に基づき、集計乗率により重みづけした推計結果

注：\*\* p<0.05, \* p<0.01, † p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。基準カテゴリーは 40～44 歳、2017 年、中都市、自営業主。

表 9:今後の納付意欲の変化(2017年と2020年の比較)

(1) 自分自身の資格期間が25年以上であると考えている者

	満額となる40年に近づけるよう、できるだけ長く納める			もうこれ以上納めない			計		N	
	2017	2020	(差)	2017	2020	(差)	2017	2020	2017	2020
40～44歳	90.5	86.9	-3.6	9.5	13.1	3.6	100.0	100.0	318	324
45～49歳	93.6	94.2	0.6	6.4	5.8	-0.6	100.0	100.0	678	551
50～54歳	90.9	93.3	2.4	9.1	6.7	-2.4	100.0	100.0	676	599
55～59歳	75.4	75.3	-0.1	24.6	24.7	0.1	100.0	100.0	949	766

(2) 自分自身の資格期間が10年以上25年未満であると考えている者

	満額となる40年に近づけるよう、できるだけ長く納める			もうこれ以上納めない			計		N	
	2017	2020	(差)	2017	2020	(差)	2017	2020	2017	2020
25～29歳	86.4	84.8	-1.6	13.6	15.2	1.6	100.0	100.0	508	434
30～34歳	91.8	91.3	-0.5	8.2	8.7	0.5	100.0	100.0	912	832
35～39歳	91.8	93.3	1.5	8.2	6.7	-1.5	100.0	100.0	1,232	1,217
40～44歳	92.9	91.6	-1.3	7.1	8.4	1.3	100.0	100.0	1,441	1,475
45～49歳	85.7	85.9	0.2	14.3	14.1	-0.2	100.0	100.0	1,180	1,239
50～54歳	81.4	84.0	2.6	18.6	16.0	-2.6	100.0	100.0	595	649
55～59歳	61.6	68.4	6.8	38.4	31.6	-6.8	100.0	100.0	401	533

(3) 自分自身の資格期間が10年未満であると考えている者

	満額となる40年に近づけるよう、できるだけ長く納める			10年に届くまで納めることを目指す			もうこれ以上納めない			計		N	
	2017	2020	(差)	2017	2020	(差)	2017	2020	(差)	2017	2020	2017	2020
20～24歳	62.9	64.7	1.8	31.7	28.6	-3.1	5.4	6.7	1.3	100.0	100.0	976	1,050
25～29歳	48.8	43.3	-5.5	43.3	48.4	5.1	7.9	8.3	0.4	100.0	100.0	1,062	1,007
30～34歳	36.1	32.3	-3.8	53.6	56.5	2.9	10.3	11.2	0.9	100.0	100.0	797	841
35～39歳	34.6	28.7	-5.9	53.5	55.4	1.9	11.9	15.9	4.0	100.0	100.0	667	763
40～44歳	25.2	26.3	1.1	62.4	59.8	-2.6	12.3	13.8	1.5	100.0	100.0	552	730
45～49歳	22.2	20.0	-2.2	60.2	63.3	3.1	17.6	16.8	-0.8	100.0	100.0	463	643
50～54歳	24.8	25.9	1.1	60.9	59.3	-1.6	14.3	14.8	0.5	100.0	100.0	274	373
55～59歳**	41.2	23.7	-17.5	31.3	51.9	20.6	27.4	24.4	-3.0	100.0	100.0	238	276

出典:「国民年金被保険者実態調査」(調査票情報)に基づき、集計乗率により重みづけした推計結果

注: \*\* p<0.05, \* p<0.01, † p<0.1。括弧内は標準誤差を表す。

表 10: 今後の納付拒否率に関する Logit 分析(オッズ比)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
女性	1.107 (0.124)	1.137* (0.0664)	1.178 (0.259)	1.022 (0.132)	1.087 (0.104)	1.160* (0.0778)	1.109 (0.245)	1.034 (0.0810)
20～24歳	0.927 (0.194)			0.694* (0.103)	0.759 (0.155)			0.618** (0.0951)
25～29歳	1.084 (0.487)		1.935 (1.130)	0.599** (0.0792)	0.985 (0.392)		1.673 (0.921)	0.614** (0.0917)
30～34歳	0.914 (0.208)		1.078 (0.227)	0.655 (0.170)	0.863 (0.162)		1.016 (0.205)	0.673 (0.177)
35～39歳	1.100 (0.245)		1.084 (0.347)	1.071 (0.132)	1.039 (0.217)		1.039 (0.327)	1.069 (0.126)
45～49歳	1.534** (0.180)	0.670** (0.0410)	2.144** (0.576)	1.730** (0.343)	1.521** (0.187)	0.722** (0.0564)	2.088** (0.562)	1.572+ (0.411)
50～54歳	1.756** (0.181)	1.048 (0.110)	2.960** (0.641)	1.241* (0.132)	1.854** (0.188)	1.095 (0.0967)	2.979** (0.683)	1.249* (0.116)
55～59歳	4.518** (0.749)	3.606** (1.030)	7.899** (2.657)	2.836** (0.537)	4.893** (0.910)	3.959** (1.076)	7.575** (2.223)	3.163** (0.484)
2020年	1.260 (0.203)	1.310 (0.721)	1.185+ (0.117)	1.216* (0.119)	1.270 (0.202)	1.241 (0.657)	1.217 (0.158)	1.183 (0.126)
20～24歳×2020年	0.884 (0.134)			0.933 (0.139)	0.886 (0.158)			0.975 (0.151)
25～29歳×2020年	0.839 (0.347)		1.019 (0.520)	0.812 (0.242)	0.824 (0.331)		0.966 (0.506)	0.832 (0.243)
30～34歳×2020年	0.947 (0.290)		0.940 (0.266)	1.011 (0.300)	0.908 (0.279)		0.904 (0.270)	0.995 (0.316)
35～39歳×2020年	0.753 (0.193)		0.667 (0.207)	0.976 (0.143)	0.735 (0.184)		0.634 (0.224)	1.002 (0.195)
45～49歳×2020年	0.791 (0.207)	0.904 (0.536)	0.810 (0.261)	0.685 (0.196)	0.742 (0.215)	0.885 (0.607)	0.713 (0.243)	0.765 (0.273)
50～54歳×2020年	0.704 (0.168)	0.599 (0.333)	0.748 (0.144)	0.813 (0.285)	0.665 (0.192)	0.596 (0.339)	0.684 (0.194)	0.892 (0.311)
55～59歳×2020年	0.705** (0.0905)	0.779 (0.355)	0.539* (0.162)	0.652* (0.112)	0.683** (0.0892)	0.756 (0.374)	0.522* (0.137)	0.639* (0.123)



表 10: 今後の納付拒否率に関する Logit 分析(オッズ比) (つづき)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
世帯消費月額 (ln)	0.724** (0.0766)	0.555** (0.0438)	0.773** (0.0511)	0.880 (0.0760)	0.747** (0.0779)	0.574** (0.0434)	0.793** (0.0498)	0.896 (0.0936)
大都市	0.930 (0.155)	0.808 (0.243)	0.867 (0.102)	1.193+ (0.120)	0.957 (0.146)	0.811 (0.243)	0.879 (0.0867)	1.248** (0.0914)
小都市・市町村	1.042 (0.110)	1.131 (0.239)	0.863 (0.0943)	1.317** (0.0931)	1.074 (0.111)	1.147 (0.252)	0.885 (0.0837)	1.361** (0.106)
生命保険料月額 (ln)	0.976** (0.00397)	0.987 (0.00817)	0.980** (0.00728)	0.964* (0.0170)	0.983** (0.00348)	0.991 (0.0111)	0.985** (0.00442)	0.972 (0.0171)
個人年金保険料月額 (ln)	0.972* (0.0119)	0.962** (0.0144)	0.982 (0.0119)	1.011 (0.0224)	0.979+ (0.0123)	0.963* (0.0178)	0.988 (0.00990)	1.020 (0.0221)
家族従業者	0.956 (0.124)	1.291* (0.151)	0.919 (0.191)	0.768 (0.223)	0.966 (0.0962)	1.414** (0.182)	0.841 (0.161)	0.794 (0.205)
常用雇用	1.181 (0.153)	1.582 (0.497)	0.945 (0.119)	1.016 (0.182)	1.183 (0.133)	1.726 (0.583)	0.925 (0.118)	0.966 (0.169)
週労働30時間以上	1.112 (0.129)	1.388** (0.156)	0.913 (0.164)	0.938 (0.124)	1.038 (0.0951)	1.442** (0.177)	0.844 (0.125)	0.820 (0.145)
週労働20時間以上30時間未満	1.473** (0.146)	2.099** (0.345)	1.323* (0.173)	0.975 (0.0789)	1.390** (0.141)	2.106** (0.272)	1.225 (0.158)	0.891 (0.0942)
週労働20時間未満	1.644** (0.190)	2.444** (0.521)	1.501** (0.0679)	1.121 (0.143)	1.575** (0.215)	2.472** (0.530)	1.412** (0.128)	1.067 (0.170)
臨時	1.807** (0.404)	4.449** (2.291)	1.408 (0.496)	0.996 (0.209)	1.622** (0.277)	4.166** (2.141)	1.285 (0.531)	0.884 (0.192)
無業	1.812** (0.254)	2.653** (0.456)	1.652** (0.179)	1.330** (0.120)	1.759** (0.278)	2.760** (0.504)	1.557** (0.174)	1.233* (0.121)

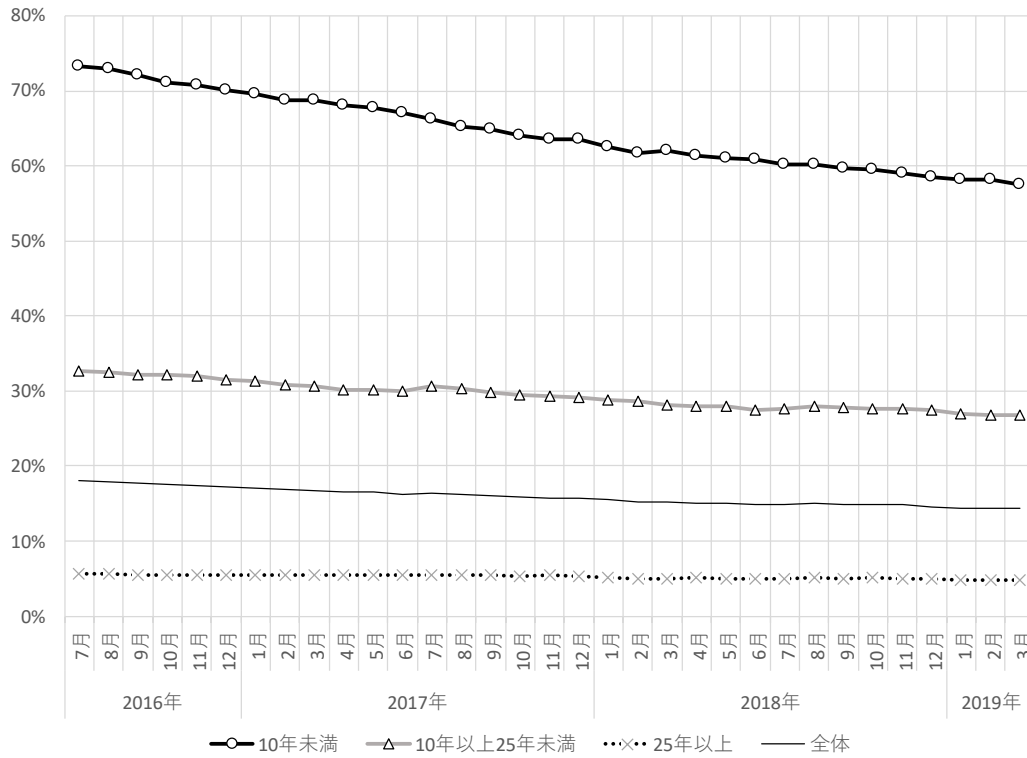
表 10: 今後の納付拒否率に関する Logit 分析(オッズ比) (つづき)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
周知度：資格期間10年以上					1.045 (0.0543)	0.933** (0.0149)	1.114 (0.158)	1.083* (0.0371)
周知度：満額年金要件					1.170* (0.0903)	1.268* (0.134)	1.116 (0.118)	1.183+ (0.116)
周知度：給付水準の実質価値維持					1.160** (0.0581)	1.080+ (0.0440)	1.178 (0.156)	1.120+ (0.0729)
周知度：障害年金の存在					0.907 (0.0676)	1.060 (0.0635)	0.960 (0.123)	0.767** (0.0624)
周知度：遺族年金の存在					1.027 (0.0553)	1.041 (0.0530)	1.026 (0.161)	0.935 (0.0934)
周知度：2分の1国庫負担					1.153 (0.141)	1.182** (0.0610)	1.207 (0.157)	0.978 (0.134)
周知度：社会保険料控除					1.128* (0.0544)	0.934 (0.158)	1.226** (0.0807)	1.255** (0.0763)
周知度：上乘せ給付の存在					1.391** (0.0828)	1.108 (0.0953)	1.450** (0.106)	1.442+ (0.286)
周知度：年金生活者支援給付金の存在					0.958 (0.159)	1.019 (0.126)	0.993 (0.189)	0.796 (0.111)
周知度：世代間再分配					1.522** (0.0840)	1.719** (0.240)	1.389** (0.0696)	1.435** (0.114)
周知度：未納期間の追納可能期間					0.906 (0.0764)	0.959 (0.0792)	0.764+ (0.108)	1.122 (0.113)
周知度：滞納保険料の強制徴収					1.241* (0.117)	1.067 (0.171)	1.330** (0.0697)	1.360** (0.151)
周知度：免除制度					0.818 (0.169)	0.610** (0.0779)	0.819 (0.108)	1.265 (0.246)
周知度：保険料納付猶予制度					0.732** (0.0202)	0.784+ (0.115)	0.677** (0.0576)	0.785** (0.0736)
周知度：免除・猶予期間の追納可能期間					1.109* (0.0546)	1.208 (0.233)	1.085 (0.121)	1.018 (0.111)
定数項	3.145 (2.481)	55.95** (52.18)	1.460 (0.701)	0.531 (0.404)	1.443 (0.985)	29.35** (22.95)	0.744 (0.281)	0.269 (0.232)
N	23,247	4,126	10,822	8,299	22,773	4,039	10,601	8,133
pseudo R-squared	0.0656	0.130	0.0763	0.0389	0.0841	0.140	0.100	0.0649
log likelihood	-5.164e+06	-1.457e+06	-2.242e+06	-1.366e+06	-4.934e+06	-1.403e+06	-2.129e+06	-1.298e+06

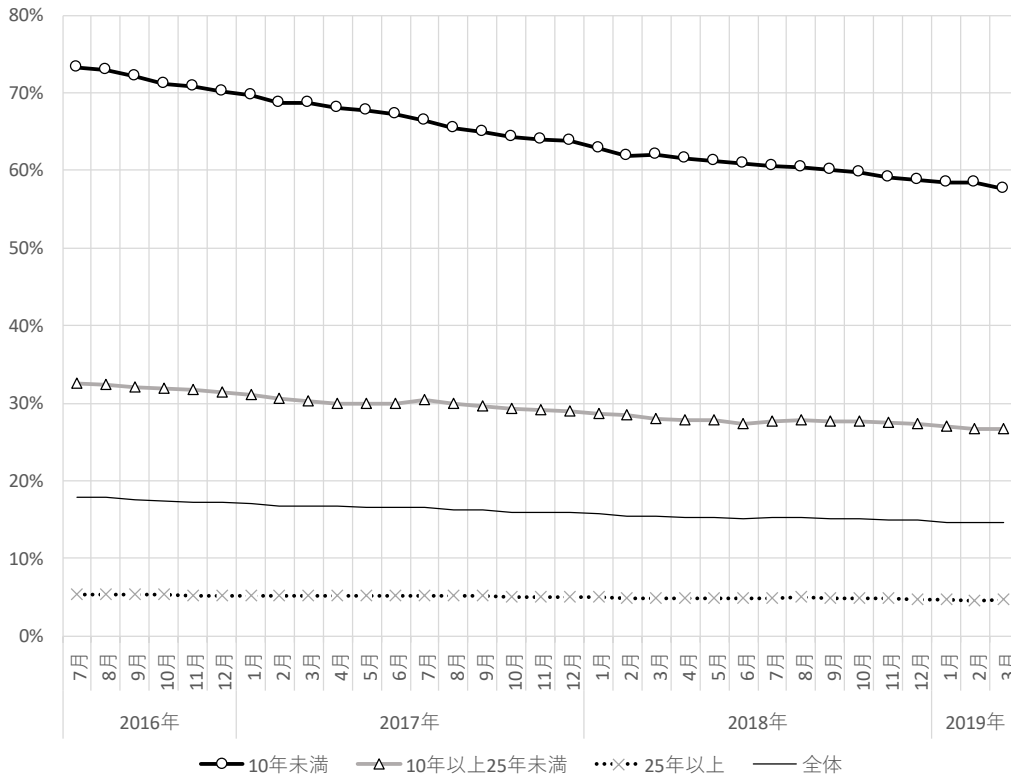
出典：「国民年金被保険者実態調査」(調査票情報)に基づき、集計乗率により重みづけした推計結果

注：\*\* p<0.05, \* p<0.01, † p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。基準カテゴリーは 40～44 歳、2017 年、中都市、自営業主。

図 2:2017 年 7 月末時点ですでに達成した受給資格期間別の未納率  
(1) 50 歳以上／不完全パネル

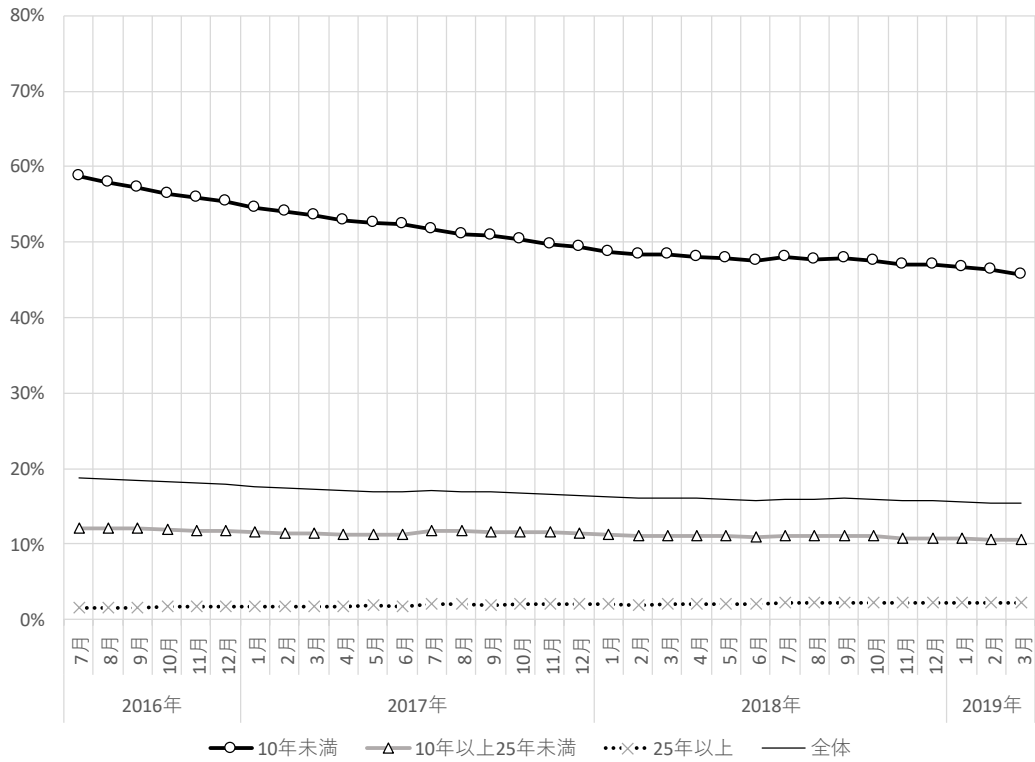


(2) 50 歳以上／完全パネル

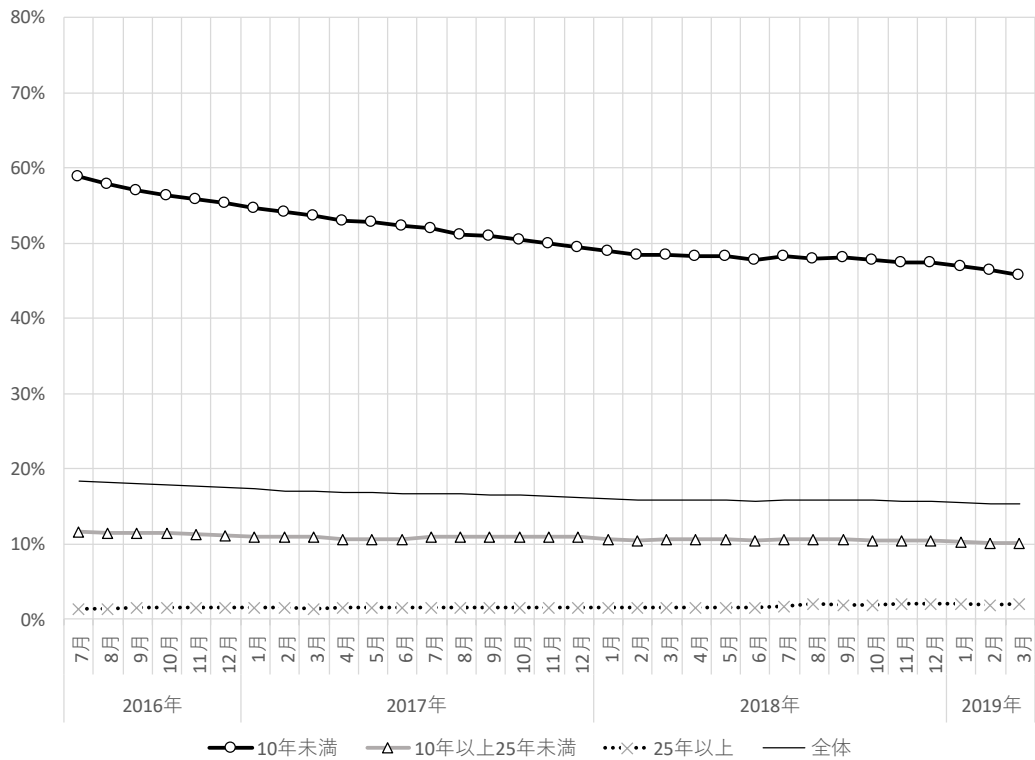


出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

図 2:2017 年 7 月末時点ですでに達成した受給資格期間別の未納率(つづき)  
 (3) 35~49 歳 / 不完全パネル



(4) 35~49 歳 / 完全パネル



出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

表 11: 受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果  
(1) 50 歳以上/不完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
受給資格期間 (Ref: 25年以上)			
10年未満	4.5042*** [0.5607]	4.3066*** [0.4252]	
10年以上25年未満	1.8120*** [0.3896]	1.7195*** [0.2478]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	0.1946+ [0.1149]	0.0315 [0.1025]	0.0297 [0.1025]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー			
10年未満 × 制度変更ダミー	-1.4401* [0.6448]	-1.2442* [0.5929]	-1.2421* [0.5930]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	-0.6857 [0.4390]	-0.5569 [0.3546]	-0.5552 [0.3547]
トレンド項 (納付対象月)			
	-0.0001 [0.0002]	-0.0002 [0.0001]	-0.0002+ [0.0001]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項			
10年未満 × トレンド項	-0.0057*** [0.0008]	-0.0054*** [0.0006]	-0.0054*** [0.0006]
10年以上25年未満 × トレンド項	-0.0023*** [0.0006]	-0.0021*** [0.0004]	-0.0021*** [0.0004]
制度変更ダミー × トレンド項			
	-0.0003+ [0.0002]	0.0000 [0.0001]	0.0000 [0.0001]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー × トレンド項			
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0021* [0.0009]	0.0018* [0.0009]	0.0018* [0.0009]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0010 [0.0006]	0.0008 [0.0005]	0.0008 [0.0005]
性別 (男性=0、女性=1)			
	-0.0415*** [0.0008]	-0.0422*** [0.0041]	
月齢			
	0.0000 [0.0000]	0.0000 [0.0001]	
定数項			
	0.1047 [0.1023]	0.2122** [0.0738]	0.9590*** [0.0817]
観測値数			
	613,210	613,210	613,210
自由度調整済み決定係数			
	0.261		
決定係数 (Within)			
		0.014	0.014
決定係数 (Between)			
		0.299	0.295
決定係数 (Overall)			
		0.261	0.255

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 11: 受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(2) 50 歳以上/完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
受給資格期間 (Ref: 25年以上)			
10年未満	4.3146*** [0.5682]	4.3146*** [0.4289]	
10年以上25年未満	1.6779*** [0.3986]	1.6779*** [0.2472]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	-0.0292 [0.1163]	-0.0292 [0.1010]	-0.0292 [0.1010]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー			
10年未満 × 制度変更ダミー	-1.1644+ [0.6531]	-1.1644+ [0.5985]	-1.1644+ [0.5985]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	-0.5466 [0.4493]	-0.5466 [0.3550]	-0.5466 [0.3550]
トレンド項 (納付対象月)			
	-0.0003+ [0.0002]	-0.0003* [0.0001]	-0.0002* [0.0001]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項			
10年未満 × トレンド項	-0.0054*** [0.0008]	-0.0054*** [0.0006]	-0.0054*** [0.0006]
10年以上25年未満 × トレンド項	-0.0021*** [0.0006]	-0.0021*** [0.0004]	-0.0021*** [0.0004]
制度変更ダミー × トレンド項			
	0.0000 [0.0002]	0.0000 [0.0001]	0.0000 [0.0001]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー × トレンド項			
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0017+ [0.0009]	0.0017+ [0.0009]	0.0017+ [0.0009]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0008 [0.0007]	0.0008 [0.0005]	0.0008 [0.0005]
性別 (男性=0、女性=1)			
	-0.0395*** [0.0008]	-0.0395*** [0.0043]	
月齢			
	0.0001** [0.0000]	0.0001 [0.0001]	
定数項			
	0.2380* [0.1033]	0.2380*** [0.0714]	0.9979*** [0.0818]
観測値数			
	575,520	575,520	575,520
自由度調整済み決定係数			
	0.268		
決定係数 (Within)			
		0.015	0.015
決定係数 (Between)			
		0.308	0.304
決定係数 (Overall)			
		0.268	0.262

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 11: 受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(3) 35~49 歳 / 不完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
受給資格期間 (Ref: 25年以上)			
10年未満	4.7815*** [0.2998]	4.5151*** [0.2222]	
10年以上25年未満	0.7831*** [0.1262]	0.7705*** [0.0980]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	0.1031 [0.0884]	-0.0965 [0.0982]	-0.0985 [0.0982]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー			
10年未満 × 制度変更ダミー	-2.4866*** [0.3413]	-2.1797*** [0.3126]	-2.1764*** [0.3126]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	-0.1221 [0.1438]	-0.1634 [0.1382]	-0.1651 [0.1382]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0007*** [0.0001]	-0.0009*** [0.0001]	0.0001 [0.0001]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項			
10年未満 × トレンド項	-0.0061*** [0.0004]	-0.0057*** [0.0003]	-0.0057*** [0.0003]
10年以上25年未満 × トレンド項	-0.0009*** [0.0002]	-0.0009*** [0.0001]	-0.0009*** [0.0001]
制度変更ダミー × トレンド項	-0.0001 [0.0001]	0.0001 [0.0001]	0.0001 [0.0001]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー × トレンド項			
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0036*** [0.0005]	0.0031*** [0.0005]	0.0031*** [0.0005]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0002 [0.0002]	0.0002 [0.0002]	0.0002 [0.0002]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0395*** [0.0006]	-0.0400*** [0.0029]	
月齢	0.0010*** [0.0000]	0.0010*** [0.0000]	
定数項	-0.0826 [0.0763]	0.1024 [0.0693]	1.2193*** [0.0597]
観測値数	1,342,682	1,342,682	1,342,682
自由度調整済み決定係数	0.212		
決定係数 (Within)		0.011	0.011
決定係数 (Between)		0.246	0.226
決定係数 (Overall)		0.212	0.194

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。

表 11: 受給資格期間短縮の影響に関する線形確率モデル分析の推定結果(つづき)

(4) 35~49 歳 / 完全パネル

被説明変数：未納ダミー	プーリング回帰	変量効果	固定効果
受給資格期間 (Ref: 25年以上)			
10年未満	4.5318*** [0.3074]	4.5318*** [0.2230]	
10年以上25年未満	0.7961*** [0.1258]	0.7961*** [0.0941]	
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	-0.1203 [0.0848]	-0.1203 [0.0939]	-0.1203 [0.0939]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー			
10年未満 × 制度変更ダミー	-2.2283*** [0.3497]	-2.2283*** [0.3144]	-2.2283*** [0.3144]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	-0.1841 [0.1432]	-0.1841 [0.1344]	-0.1841 [0.1344]
トレンド項 (納付対象月)	-0.0009*** [0.0001]	-0.0009*** [0.0001]	0.0001 [0.0001]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項			
10年未満 × トレンド項	-0.0058*** [0.0004]	-0.0058*** [0.0003]	-0.0058*** [0.0003]
10年以上25年未満 × トレンド項	-0.0009*** [0.0002]	-0.0009*** [0.0001]	-0.0009*** [0.0001]
制度変更ダミー × トレンド項	0.0002 [0.0001]	0.0002 [0.0001]	0.0002 [0.0001]
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー × トレンド項			
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0032*** [0.0005]	0.0032*** [0.0005]	0.0032*** [0.0005]
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	0.0003 [0.0002]	0.0003 [0.0002]	0.0003 [0.0002]
性別 (男性=0、女性=1)	-0.0376*** [0.0006]	-0.0376*** [0.0030]	
月齢	0.0010*** [0.0000]	0.0010*** [0.0000]	
定数項	0.0894 [0.0733]	0.0894 [0.0650]	1.2334*** [0.0595]
観測値数	1,249,215	1,249,215	1,249,215
自由度調整済み決定係数	0.223		
決定係数 (Within)		0.012	0.012
決定係数 (Between)		0.261	0.241
決定係数 (Overall)		0.223	0.204

出典:「匿名年金情報」に基づく推計結果

注:\*\*\* p<0.001, \*\* p<0.05, \* p<0.01, + p<0.1。括弧内はロバスト標準誤差を表す。



附表 1: 受給資格期間短縮分析の記述統計量

(1) 60歳以降は任意加入しないと仮定/50歳以上/不完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	635,900	0.158	0.365	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上)					
10年未満	635,900	0.038	0.192	0	1
10年以上25年未満	635,900	0.135	0.341	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	635,900	0.618	0.486	0	1
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー	635,900	0.023	0.150	0	1
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	635,900	0.082	0.274	0	1
トレンド項 (納付対象月)	635,900	694.287	9.531	678	710
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項					
10年未満 × トレンド項	635,900	26.472	132.943	0	710
10年以上25年未満 × トレンド項	635,900	93.407	236.881	0	710
制度変更ダミー × トレンド項	635,900	433.053	340.429	0	710
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	635,900	16.158	105.159	0	710
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	635,900	57.160	191.773	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	635,900	0.487	0.500	0	1
月齢	635,900	642.225	23.894	588	695

(2) 60歳以降は任意加入しないと仮定/50歳以上/完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	575,520	0.160	0.367	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上)					
10年未満	575,520	0.041	0.199	0	1
10年以上25年未満	575,520	0.141	0.348	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	575,520	0.606	0.489	0	1
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー	575,520	0.025	0.156	0	1
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	575,520	0.085	0.279	0	1
トレンド項 (納付対象月)	575,520	694.000	9.522	678	710
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項					
10年未満 × トレンド項	575,520	28.731	138.266	0	710
10年以上25年未満 × トレンド項	575,520	97.653	241.347	0	710
制度変更ダミー × トレンド項	575,520	424.546	342.309	0	710
達成可能な受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	575,520	17.576	109.562	0	710
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	575,520	59.738	195.655	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	575,520	0.475	0.499	0	1
月齢	575,520	641.763	23.807	588	695

出典:「匿名年金情報」に基づく計算結果

附表 1: 受給資格期間短縮分析の記述統計量(つづき)  
 (3) 60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/不完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,392,869	0.168	0.374	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,392,869	0.123	0.328	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,392,869	0.615	0.487	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,392,869	0.074	0.262	0	1
トレンド項 (納付対象月)	1,392,869	694.210	9.533	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	1,392,869	85.070	227.621	0	710
制度変更ダミー×トレンド項	1,392,869	430.742	340.965	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド項	1,392,869	51.945	183.556	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,392,869	0.442	0.497	0	1
月齢	1,392,869	520.176	51.476	408	619

(4) 60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,249,215	0.165	0.371	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,249,215	0.129	0.335	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,249,215	0.606	0.489	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,249,215	0.078	0.268	0	1
トレンド項 (納付対象月)	1,249,215	694.000	9.522	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	1,249,215	89.374	232.486	0	710
制度変更ダミー×トレンド項	1,249,215	424.546	342.309	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド項	1,249,215	54.673	187.915	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,249,215	0.436	0.496	0	1
月齢	1,249,215	520.729	51.274	408	619

出典:「匿名年金情報」に基づく計算結果

附表 1: 受給資格期間短縮分析の記述統計量(つづき)

(5) 70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/不完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,156,442	0.161	0.368	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,156,442	0.064	0.244	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,156,442	0.616	0.486	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,156,442	0.039	0.192	0	1
トレンド項 (納付対象月)	1,156,442	694.242	9.533	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	1,156,442	44.249	169.574	0	710
制度変更ダミー×トレンド項	1,156,442	431.696	340.746	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド項	1,156,442	26.998	134.852	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,156,442	0.470	0.499	0	1
月齢	1,156,442	611.284	40.725	528	695

(6) 70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,048,443	0.161	0.368	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,048,443	0.068	0.252	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,048,443	0.606	0.489	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,048,443	0.041	0.199	0	1
トレンド項 (納付対象月)	1,048,443	694.000	9.522	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×トレンド項	1,048,443	47.204	174.751	0	710
制度変更ダミー×トレンド項	1,048,443	424.546	342.309	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×トレンド項	1,048,443	28.877	139.268	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,048,443	0.461	0.498	0	1
月齢	1,048,443	610.887	40.578	528	695

出典:「匿名年金情報」に基づく計算結果

附表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の受給資格期間短縮分析の記述統計量  
(1) 2017年7月以降とした場合/60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/不完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,392,869	0.168	0.374	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,392,869	0.123	0.328	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,392,869	0.645	0.479	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,392,869	0.078	0.268	0	1
傾きダミー (納付対象月)	1,392,869	694.210	9.533	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×傾きダミー	1,392,869	85.070	227.621	0	710
制度変更ダミー×傾きダミー	1,392,869	451.393	335.096	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×傾きダミー	1,392,869	54.495	187.565	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,392,869	0.442	0.497	0	1
月齢	1,392,869	520.176	51.476	408	619

(2) 2017年12月以降とした場合/60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/不完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,392,869	0.168	0.374	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,392,869	0.123	0.328	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,392,869	0.495	0.500	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,392,869	0.059	0.236	0	1
傾きダミー (納付対象月)	1,392,869	694.210	9.533	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×傾きダミー	1,392,869	85.070	227.621	0	710
制度変更ダミー×傾きダミー	1,392,869	347.444	351.275	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×傾きダミー	1,392,869	41.711	166.025	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,392,869	0.442	0.497	0	1
月齢	1,392,869	520.176	51.476	408	619

(3) 2017年7月以降とした場合/60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,249,215	0.165	0.371	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,249,215	0.129	0.335	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,249,215	0.636	0.481	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,249,215	0.082	0.274	0	1
傾きダミー (納付対象月)	1,249,215	694.000	9.522	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×傾きダミー	1,249,215	89.374	232.486	0	710
制度変更ダミー×傾きダミー	1,249,215	445.455	336.767	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×傾きダミー	1,249,215	57.366	192.011	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,249,215	0.436	0.496	0	1
月齢	1,249,215	520.729	51.274	408	619

出典:「匿名年金情報」に基づく計算結果

附表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の受給資格期間短縮分析の記述統計量(つづき)

(4) 2017年12月以降とした場合/60歳以降は任意加入しないと仮定/35~49歳/完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,249,215	0.165	0.371	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,249,215	0.129	0.335	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,249,215	0.485	0.500	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,249,215	0.062	0.242	0	1
傾きダミー (納付対象月)	1,249,215	694.000	9.522	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×傾きダミー	1,249,215	89.374	232.486	0	710
制度変更ダミー×傾きダミー	1,249,215	340.606	351.104	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×傾きダミー	1,249,215	43.864	169.975	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,249,215	0.436	0.496	0	1
月齢	1,249,215	520.729	51.274	408	619

(5) 2017年7月以降とした場合/70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/不完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,156,442	0.161	0.368	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,156,442	0.064	0.244	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,156,442	0.646	0.478	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,156,442	0.040	0.197	0	1
傾きダミー (納付対象月)	1,156,442	694.242	9.533	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×傾きダミー	1,156,442	44.249	169.574	0	710
制度変更ダミー×傾きダミー	1,156,442	452.305	334.827	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×傾きダミー	1,156,442	28.327	137.943	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,156,442	0.470	0.499	0	1
月齢	1,156,442	611.284	40.725	528	695

(6) 2017年12月以降とした場合/70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/不完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,156,442	0.161	0.368	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,156,442	0.064	0.244	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,156,442	0.496	0.500	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,156,442	0.031	0.173	0	1
傾きダミー (納付対象月)	1,156,442	694.242	9.533	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×傾きダミー	1,156,442	44.249	169.574	0	710
制度変更ダミー×傾きダミー	1,156,442	348.452	351.288	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×傾きダミー	1,156,442	21.664	121.452	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,156,442	0.470	0.499	0	1
月齢	1,156,442	611.284	40.725	528	695

出典:「匿名年金情報」に基づく計算結果

附表 2: 制度変更月でない月を説明変数とした場合の受給資格期間短縮分析の記述統計量(つづき)

(7) 2017年7月以降とした場合/70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,048,443	0.161	0.368	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,048,443	0.068	0.252	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,048,443	0.636	0.481	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,048,443	0.043	0.203	0	1
傾きダミー (納付対象月)	1,048,443	694.000	9.522	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×傾きダミー	1,048,443	47.204	174.751	0	710
制度変更ダミー×傾きダミー	1,048,443	445.455	336.767	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×傾きダミー	1,048,443	30.299	142.453	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,048,443	0.461	0.498	0	1
月齢	1,048,443	610.887	40.578	528	695

(8) 2017年12月以降とした場合/70歳まで任意加入と仮定/45~59歳/完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,048,443	0.161	0.368	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間 (25年以上=0、25年未満=1)	1,048,443	0.068	0.252	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,048,443	0.485	0.500	0	1
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー	1,048,443	0.033	0.179	0	1
傾きダミー (納付対象月)	1,048,443	694.000	9.522	678	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×傾きダミー	1,048,443	47.204	174.751	0	710
制度変更ダミー×傾きダミー	1,048,443	340.606	351.104	0	710
制度変更時点で達成可能な受給資格期間×制度変更ダミー×傾きダミー	1,048,443	23.167	125.455	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,048,443	0.461	0.498	0	1
月齢	1,048,443	610.887	40.578	528	695

出典:「匿名年金情報」に基づく計算結果

附表3:1号期間滞納率・未納率に関するLogit分析(記述統計量)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
1号期間滞納	0.324 (0.468)	0.171 (0.376)	0.286 (0.452)	0.489 (0.500)	0.323 (0.468)	0.172 (0.377)	0.284 (0.451)	0.489 (0.500)
未納	0.764 (0.424)	0.627 (0.484)	0.755 (0.430)	0.880 (0.325)	0.763 (0.425)	0.628 (0.483)	0.754 (0.431)	0.880 (0.325)
女性	0.515 (0.500)	0.559 (0.497)	0.518 (0.500)	0.473 (0.499)	0.515 (0.500)	0.561 (0.496)	0.518 (0.500)	0.471 (0.499)
20~24歳	0.0687 (0.253)			0.0999 (0.300)	0.0690 (0.253)			0.100 (0.300)
25~29歳	0.128 (0.335)		0.0727 (0.260)	0.226 (0.419)	0.129 (0.336)		0.0736 (0.261)	0.227 (0.419)
30~34歳	0.130 (0.337)		0.141 (0.348)	0.159 (0.366)	0.131 (0.338)		0.141 (0.348)	0.161 (0.367)
35~39歳	0.132 (0.338)		0.187 (0.390)	0.124 (0.329)	0.132 (0.338)		0.189 (0.391)	0.124 (0.329)
40~44歳	0.140 (0.348)	0.107 (0.309)	0.221 (0.415)	0.115 (0.319)	0.140 (0.347)	0.107 (0.309)	0.220 (0.414)	0.115 (0.319)
45~49歳	0.140 (0.347)	0.226 (0.419)	0.171 (0.377)	0.0973 (0.296)	0.139 (0.346)	0.227 (0.419)	0.170 (0.376)	0.0973 (0.296)
50~54歳	0.130 (0.337)	0.286 (0.452)	0.122 (0.327)	0.0977 (0.297)	0.130 (0.337)	0.288 (0.453)	0.121 (0.326)	0.0975 (0.297)
55~59歳	0.130 (0.337)	0.380 (0.486)	0.0858 (0.280)	0.0810 (0.273)	0.129 (0.336)	0.378 (0.485)	0.0858 (0.280)	0.0789 (0.270)
2017年	0.501 (0.500)	0.533 (0.499)	0.488 (0.500)	0.483 (0.500)	0.502 (0.500)	0.533 (0.499)	0.489 (0.500)	0.483 (0.500)
2020年	0.499 (0.500)	0.467 (0.499)	0.512 (0.500)	0.517 (0.500)	0.498 (0.500)	0.467 (0.499)	0.511 (0.500)	0.517 (0.500)
20~24歳×2020年	0.0323 (0.177)			0.0490 (0.216)	0.0325 (0.177)			0.0493 (0.217)
25~29歳×2020年	0.0591 (0.236)		0.0328 (0.178)	0.106 (0.307)	0.0593 (0.236)		0.0331 (0.179)	0.106 (0.307)
30~34歳×2020年	0.0620 (0.241)		0.0659 (0.248)	0.0777 (0.268)	0.0625 (0.242)		0.0663 (0.249)	0.0785 (0.269)
35~39歳×2020年	0.0676 (0.251)		0.0939 (0.292)	0.0676 (0.251)	0.0677 (0.251)		0.0941 (0.292)	0.0681 (0.252)
45~49歳×2020年	0.0729 (0.260)	0.106 (0.308)	0.0919 (0.289)	0.0553 (0.229)	0.0725 (0.259)	0.106 (0.307)	0.0912 (0.288)	0.0554 (0.229)
50~54歳×2020年	0.0656 (0.248)	0.134 (0.341)	0.0617 (0.241)	0.0553 (0.229)	0.0653 (0.247)	0.135 (0.342)	0.0608 (0.239)	0.0551 (0.228)
50~54歳×2020年	0.0654 (0.247)	0.173 (0.378)	0.0494 (0.217)	0.0426 (0.202)	0.0649 (0.246)	0.172 (0.377)	0.0497 (0.217)	0.0415 (0.199)
世帯消費月額(ln)	11.82 (0.694)	11.92 (0.642)	11.83 (0.677)	11.76 (0.722)	11.82 (0.693)	11.92 (0.640)	11.83 (0.675)	11.76 (0.722)
大都市	0.284 (0.451)	0.275 (0.446)	0.280 (0.449)	0.295 (0.456)	0.284 (0.451)	0.276 (0.447)	0.280 (0.449)	0.296 (0.456)
中都市	0.216 (0.412)	0.222 (0.416)	0.219 (0.414)	0.213 (0.409)	0.216 (0.412)	0.222 (0.416)	0.220 (0.415)	0.212 (0.409)
小都市・市町村	0.500 (0.500)	0.503 (0.500)	0.501 (0.500)	0.492 (0.500)	0.499 (0.500)	0.502 (0.500)	0.500 (0.500)	0.492 (0.500)

附表 3: 1号期間滞納率・未納率に関する Logit 分析(記述統計量)(つづき)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
生命保険料月額(ln)	5.182 (4.611)	6.523 (4.383)	5.416 (4.574)	4.335 (4.594)	5.192 (4.611)	6.537 (4.379)	5.432 (4.572)	4.331 (4.594)
個人年金保険料月額(ln)	1.159 (3.102)	1.850 (3.770)	1.189 (3.133)	0.791 (2.613)	1.162 (3.106)	1.853 (3.771)	1.194 (3.139)	0.790 (2.611)
自営業主	0.250 (0.433)	0.308 (0.462)	0.279 (0.449)	0.218 (0.413)	0.251 (0.433)	0.307 (0.461)	0.281 (0.449)	0.218 (0.413)
家族従業者	0.0905 (0.287)	0.113 (0.316)	0.101 (0.302)	0.0724 (0.259)	0.0902 (0.286)	0.112 (0.315)	0.101 (0.301)	0.0726 (0.260)
常用雇用	0.126 (0.332)	0.0866 (0.281)	0.124 (0.330)	0.137 (0.344)	0.126 (0.332)	0.0872 (0.282)	0.124 (0.330)	0.138 (0.345)
週労働30時間以上	0.0942 (0.292)	0.0658 (0.248)	0.0813 (0.273)	0.117 (0.321)	0.0943 (0.292)	0.0653 (0.247)	0.0812 (0.273)	0.117 (0.322)
週労働20時間以上30時間未満	0.106 (0.308)	0.0978 (0.297)	0.107 (0.309)	0.103 (0.305)	0.105 (0.307)	0.0964 (0.295)	0.106 (0.308)	0.103 (0.304)
週労働20時間未満	0.0809 (0.273)	0.0836 (0.277)	0.0756 (0.264)	0.0845 (0.278)	0.0804 (0.272)	0.0841 (0.278)	0.0742 (0.262)	0.0847 (0.279)
臨時	0.0240 (0.153)	0.0160 (0.125)	0.0220 (0.147)	0.0288 (0.167)	0.0242 (0.154)	0.0160 (0.126)	0.0222 (0.147)	0.0289 (0.168)
無業	0.229 (0.420)	0.230 (0.421)	0.209 (0.407)	0.239 (0.426)	0.229 (0.420)	0.232 (0.422)	0.210 (0.407)	0.238 (0.426)
周知度：資格期間10年以上					0.426 (0.495)	0.328 (0.470)	0.382 (0.486)	0.487 (0.500)
周知度：満額年金要件					0.334 (0.472)	0.264 (0.441)	0.309 (0.462)	0.374 (0.484)
周知度：給付水準の実質価値維持					0.631 (0.483)	0.484 (0.500)	0.618 (0.486)	0.718 (0.450)
周知度：障害年金の存在					0.323 (0.468)	0.271 (0.444)	0.299 (0.458)	0.364 (0.481)
周知度：遺族年金の存在					0.244 (0.430)	0.166 (0.372)	0.211 (0.408)	0.305 (0.460)
周知度：2分の1国庫負担					0.615 (0.487)	0.524 (0.499)	0.600 (0.490)	0.674 (0.469)
周知度：社会保険料控除					0.539 (0.498)	0.457 (0.498)	0.506 (0.500)	0.603 (0.489)
周知度：上乗せ給付の存在					0.540 (0.498)	0.391 (0.488)	0.508 (0.500)	0.643 (0.479)
周知度：年金生活者支援給付金の存在					0.808 (0.394)	0.799 (0.401)	0.806 (0.396)	0.833 (0.373)
周知度：世代間再分配					0.148 (0.355)	0.0890 (0.285)	0.122 (0.328)	0.200 (0.400)
周知度：未納期間の追納可能期間					0.281 (0.450)	0.227 (0.419)	0.241 (0.428)	0.326 (0.469)
周知度：滞納保険料の強制徴収					0.375 (0.484)	0.395 (0.489)	0.339 (0.473)	0.397 (0.489)
周知度：免除制度					0.204 (0.403)	0.201 (0.400)	0.173 (0.378)	0.208 (0.406)
周知度：保険料納付猶予制度					0.672 (0.469)	0.681 (0.466)	0.665 (0.472)	0.664 (0.472)
周知度：免除・猶予期間の追納可能期間					0.577 (0.494)	0.549 (0.498)	0.553 (0.497)	0.611 (0.488)
N	17,488	3,314	6,921	4,555	17,099	3,246	6,762	4,461

出典:「国民年金被保険者実態調査」に基づく計算結果



附表 4: 今後の納付拒否率に関する Logit 分析 (記述統計量)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
これ以上納めない	0.135 (0.341)	0.163 (0.370)	0.139 (0.346)	0.115 (0.319)	0.134 (0.341)	0.163 (0.369)	0.139 (0.346)	0.114 (0.318)
女性	0.512 (0.500)	0.551 (0.497)	0.521 (0.500)	0.479 (0.500)	0.511 (0.500)	0.552 (0.497)	0.521 (0.500)	0.478 (0.500)
20~24歳	0.0447 (0.207)			0.125 (0.331)	0.0448 (0.207)			0.126 (0.331)
25~29歳	0.111 (0.314)		0.0756 (0.264)	0.213 (0.409)	0.112 (0.315)		0.0759 (0.265)	0.214 (0.410)
30~34歳	0.129 (0.335)		0.146 (0.353)	0.171 (0.377)	0.130 (0.336)		0.146 (0.353)	0.172 (0.378)
35~39歳	0.144 (0.352)		0.197 (0.398)	0.147 (0.355)	0.145 (0.352)		0.199 (0.399)	0.147 (0.354)
40~44歳	0.177 (0.381)	0.130 (0.336)	0.230 (0.421)	0.130 (0.336)	0.176 (0.381)	0.129 (0.335)	0.230 (0.421)	0.129 (0.335)
45~49歳	0.170 (0.375)	0.255 (0.436)	0.188 (0.391)	0.103 (0.304)	0.170 (0.375)	0.256 (0.436)	0.187 (0.390)	0.104 (0.305)
50~54歳	0.114 (0.318)	0.266 (0.442)	0.0957 (0.294)	0.0617 (0.241)	0.114 (0.317)	0.267 (0.443)	0.0949 (0.293)	0.0617 (0.241)
55~59歳	0.111 (0.314)	0.350 (0.477)	0.0676 (0.251)	0.0480 (0.214)	0.110 (0.313)	0.349 (0.477)	0.0676 (0.251)	0.0468 (0.211)
2017年	0.496 (0.500)	0.538 (0.499)	0.498 (0.500)	0.474 (0.499)	0.497 (0.500)	0.538 (0.499)	0.499 (0.500)	0.475 (0.499)
2020年	0.504 (0.500)	0.462 (0.499)	0.502 (0.500)	0.526 (0.499)	0.503 (0.500)	0.462 (0.499)	0.501 (0.500)	0.525 (0.499)
20~24歳 × 2020年	0.0217 (0.146)			0.0607 (0.239)	0.0217 (0.146)			0.0609 (0.239)
25~29歳 × 2020年	0.0527 (0.224)		0.0337 (0.181)	0.104 (0.305)	0.0528 (0.224)		0.0339 (0.181)	0.104 (0.305)
30~34歳 × 2020年	0.0636 (0.244)		0.0697 (0.255)	0.0872 (0.282)	0.0641 (0.245)		0.0700 (0.255)	0.0883 (0.284)
35~39歳 × 2020年	0.0737 (0.261)		0.0984 (0.298)	0.0782 (0.269)	0.0736 (0.261)		0.0987 (0.298)	0.0775 (0.267)
45~49歳 × 2020年	0.0865 (0.281)	0.114 (0.317)	0.0967 (0.296)	0.0596 (0.237)	0.0864 (0.281)	0.114 (0.317)	0.0962 (0.295)	0.0600 (0.238)
50~54歳 × 2020年	0.0579 (0.234)	0.124 (0.329)	0.0497 (0.217)	0.0358 (0.186)	0.0576 (0.233)	0.124 (0.330)	0.0490 (0.216)	0.0357 (0.185)
50~54歳 × 2020年	0.0557 (0.229)	0.159 (0.365)	0.0391 (0.194)	0.0264 (0.160)	0.0555 (0.229)	0.158 (0.365)	0.0391 (0.194)	0.0257 (0.158)
世帯消費月額 (ln)	11.74 (0.715)	11.85 (0.668)	11.75 (0.701)	11.68 (0.749)	11.74 (0.714)	11.85 (0.666)	11.75 (0.700)	11.68 (0.748)
大都市	0.281 (0.450)	0.278 (0.448)	0.278 (0.448)	0.288 (0.453)	0.282 (0.450)	0.279 (0.449)	0.278 (0.448)	0.288 (0.453)
中都市	0.235 (0.424)	0.231 (0.422)	0.234 (0.424)	0.239 (0.426)	0.236 (0.424)	0.231 (0.422)	0.235 (0.424)	0.239 (0.426)
小都市・市町村	0.483 (0.500)	0.491 (0.500)	0.488 (0.500)	0.474 (0.499)	0.483 (0.500)	0.490 (0.500)	0.487 (0.500)	0.473 (0.499)

附表4:今後の納付拒否率に関するLogit分析(記述統計量)(つづき)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満	全サンプル	25年以上	10年以上25 年未満	10年未満
生命保険料月額(ln)	4.656 (4.589)	6.210 (4.457)	4.848 (4.570)	3.634 (4.427)	4.658 (4.590)	6.232 (4.450)	4.852 (4.570)	3.623 (4.425)
個人年金保険料月額(ln)	0.947 (2.832)	1.686 (3.632)	0.958 (2.843)	0.564 (2.228)	0.950 (2.836)	1.696 (3.639)	0.962 (2.849)	0.563 (2.224)
自営業主	0.198 (0.398)	0.272 (0.445)	0.212 (0.409)	0.142 (0.349)	0.198 (0.399)	0.272 (0.445)	0.213 (0.409)	0.143 (0.350)
家族従業者	0.0760 (0.265)	0.0979 (0.297)	0.0822 (0.275)	0.0569 (0.232)	0.0757 (0.265)	0.0978 (0.297)	0.0819 (0.274)	0.0568 (0.231)
常用雇用	0.0856 (0.280)	0.0705 (0.256)	0.0884 (0.284)	0.0894 (0.285)	0.0859 (0.280)	0.0708 (0.257)	0.0886 (0.284)	0.0900 (0.286)
週労働30時間以上	0.0748 (0.263)	0.0620 (0.241)	0.0699 (0.255)	0.0875 (0.283)	0.0749 (0.263)	0.0619 (0.241)	0.0697 (0.255)	0.0882 (0.284)
週労働20時間以上30時間未満	0.106 (0.308)	0.0962 (0.295)	0.110 (0.313)	0.107 (0.309)	0.106 (0.308)	0.0948 (0.293)	0.110 (0.313)	0.106 (0.308)
週労働20時間未満	0.0929 (0.290)	0.0902 (0.286)	0.0875 (0.283)	0.101 (0.302)	0.0923 (0.289)	0.0901 (0.286)	0.0863 (0.281)	0.101 (0.301)
臨時	0.0302 (0.171)	0.0182 (0.134)	0.0275 (0.164)	0.0395 (0.195)	0.0303 (0.171)	0.0186 (0.135)	0.0274 (0.163)	0.0400 (0.196)
無業	0.337 (0.473)	0.293 (0.455)	0.323 (0.468)	0.377 (0.485)	0.337 (0.473)	0.294 (0.456)	0.323 (0.468)	0.375 (0.484)
周知度:資格期間10年以上					0.411 (0.492)	0.325 (0.468)	0.383 (0.486)	0.489 (0.500)
周知度:満額年金要件					0.328 (0.470)	0.265 (0.441)	0.314 (0.464)	0.378 (0.485)
周知度:給付水準の実質価値維持					0.619 (0.486)	0.488 (0.500)	0.606 (0.489)	0.700 (0.458)
周知度:障害年金の存在					0.295 (0.456)	0.262 (0.440)	0.274 (0.446)	0.339 (0.473)
周知度:遺族年金の存在					0.238 (0.426)	0.171 (0.377)	0.214 (0.410)	0.303 (0.460)
周知度:2分の1国庫負担					0.615 (0.487)	0.532 (0.499)	0.604 (0.489)	0.670 (0.470)
周知度:社会保険料控除					0.561 (0.496)	0.471 (0.499)	0.540 (0.498)	0.635 (0.482)
周知度:上乘せ給付の存在					0.554 (0.497)	0.411 (0.492)	0.527 (0.499)	0.658 (0.474)
周知度:年金生活者支援給付金の存在					0.815 (0.388)	0.800 (0.400)	0.808 (0.394)	0.831 (0.375)
周知度:世代間再分配					0.147 (0.354)	0.0906 (0.287)	0.133 (0.339)	0.194 (0.396)
周知度:未納期間の追納可能期間					0.279 (0.449)	0.237 (0.426)	0.248 (0.432)	0.341 (0.474)
周知度:滞納保険料の強制徴収					0.382 (0.486)	0.395 (0.489)	0.356 (0.479)	0.411 (0.492)
周知度:免除制度					0.150 (0.357)	0.169 (0.374)	0.135 (0.341)	0.160 (0.367)
周知度:保険料納付猶予制度					0.585 (0.493)	0.636 (0.481)	0.577 (0.494)	0.570 (0.495)
周知度:免除・猶予期間の追納可能期間					0.525 (0.499)	0.524 (0.499)	0.503 (0.500)	0.556 (0.497)
N	23,247	4,126	10,822	8,299	22,773	4,039	10,601	8,133

出典:「国民年金被保険者実態調査」に基づく計算結果

附表 5: 受給資格期間短縮分析の記述統計量

(1) 50 歳以上/不完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	635,900	0.158	0.365	0	1
受給資格期間 (Ref: 25年以上)					
10年未満	613,210	0.095	0.293	0	1
10年以上25年未満	613,210	0.209	0.406	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	635,900	0.618	0.486	0	1
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー	613,210	0.058	0.233	0	1
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	613,210	0.126	0.332	0	1
トレンド項 (納付対象月)	635,900	694.287	9.531	678	710
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項					
10年未満 × トレンド項	613,210	65.946	203.531	0	710
10年以上25年未満 × トレンド項	613,210	144.831	282.053	0	710
制度変更ダミー × トレンド項	635,900	433.053	340.429	0	710
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	613,210	40.283	163.085	0	710
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	613,210	88.538	232.774	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	635,900	0.487	0.500	0	1
月齢	635,900	642.225	23.894	588	695

(2) 50 歳以上/完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	575,520	0.160	0.367	0	1
受給資格期間 (Ref: 25年以上)					
10年未満	575,520	0.099	0.298	0	1
10年以上25年未満	575,520	0.212	0.408	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	575,520	0.606	0.489	0	1
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー	575,520	0.060	0.237	0	1
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	575,520	0.128	0.334	0	1
トレンド項 (納付対象月)	575,520	694.000	9.522	678	710
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項					
10年未満 × トレンド項	575,520	68.564	207.103	0	710
10年以上25年未満 × トレンド項	575,520	146.878	283.513	0	710
制度変更ダミー × トレンド項	575,520	424.546	342.309	0	710
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	575,520	41.943	166.205	0	710
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	575,520	89.851	234.247	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	575,520	0.475	0.499	0	1
月齢	575,520	641.763	23.807	588	695

出典:「匿名年金情報」に基づく計算結果

附表 5: 受給資格期間短縮分析の記述統計量(つづき)

(3) 35~49 歳 / 不完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,392,869	0.168	0.374	0	1
受給資格期間 (Ref: 25年以上)					
10年未満	1,342,682	0.182	0.386	0	1
10年以上25年未満	1,342,682	0.630	0.483	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,392,869	0.615	0.487	0	1
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー	1,342,682	0.110	0.313	0	1
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	1,342,682	0.384	0.486	0	1
トレンド項 (納付対象月)	1,392,869	694.210	9.533	678	710
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項					
10年未満 × トレンド項	1,342,682	126.186	267.698	0	710
10年以上25年未満 × トレンド項	1,342,682	437.530	335.096	0	710
制度変更ダミー × トレンド項	1,392,869	430.742	340.965	0	710
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	1,342,682	77.015	219.131	0	710
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	1,342,682	268.746	340.639	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,392,869	0.442	0.497	0	1
月齢	1,392,869	520.176	51.476	408	619

(4) 35~49 歳 / 完全パネル

変数名	観測値数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
未納ダミー	1,249,215	0.165	0.371	0	1
受給資格期間 (Ref: 25年以上)					
10年未満	1,249,215	0.185	0.388	0	1
10年以上25年未満	1,249,215	0.626	0.484	0	1
制度変更ダミー (受給資格期間短縮前=0、後=1)	1,249,215	0.606	0.489	0	1
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー	1,249,215	0.112	0.316	0	1
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー	1,249,215	0.379	0.485	0	1
トレンド項 (納付対象月)	1,249,215	694.000	9.522	678	710
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × トレンド項					
10年未満 × トレンド項	1,249,215	128.442	269.552	0	710
10年以上25年未満 × トレンド項	1,249,215	434.312	335.920	0	710
制度変更ダミー × トレンド項	1,249,215	424.546	342.309	0	710
受給資格期間 (Ref: 25年以上) × 制度変更ダミー					
10年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	1,249,215	78.573	221.066	0	710
10年以上25年未満 × 制度変更ダミー × トレンド項	1,249,215	265.684	339.907	0	710
性別 (男性=0、女性=1)	1,249,215	0.436	0.496	0	1
月齢	1,249,215	520.729	51.274	408	619

出典:「匿名年金情報」に基づく計算結果